

令和 7 年度



栗山町教育委員会

栗山町民憲章

わたくしたちは、夕張川の流れとともに、
たくましい先人の夢を育て、輝く未来を築く栗山町民です。

- 一．健康につとめ、笑顔あふれるまちをつくりましょう。
- 一．きまりを守り、住みよいきれいなまちをつくりましょう。
- 一．親切をつくし、心のふれあうまちをつくりましょう。
- 一．仕事にはげみ、生きがいのあるまちをつくりましょう。
- 一．郷土を愛し、文化豊かなまちをつくりましょう。

栗山町教育委員会の教育目標

栗山町教育委員会は、幼児・児童・生徒（以下、「子供たち」という）が
道徳心、知性、感性、体力を育み、人間性豊かに成長することを願い、

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- 地域社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、個性と創造性豊かな人間

の育成に向けた教育を重視する。

また、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を担い、豊かな環境の中で、
子供たちが、生涯にわたって主体的に文化やスポーツに親しむことができる
人間として成長するよう関係機関との一層の連携を図る。

さらに、教育は、家庭、学校及び地域のそれぞれが連携し
行わなければならないものであるとの認識に立って、
すべての町民が教育に参加することを目指していく。

（令和3年11月 栗山町教育委員会決定）



も く じ

I 教育委員会

1 教育委員	1
2 歴代教育委員長	1
3 歴代教育長	2
4 歴代教育長職務代理者	2
5 歴代教育委員	2
6 各種委員会・審議会委員	4
7 組織機構と事務分掌	11
8 教育費の推移	20

II 学校教育

1 小中学校の統廃合の変遷	21
2 児童生徒数・学級数の推移	22
3 各小中学校の概要	24

III 学校給食

1 栗山町学校給食の方針	36
2 学校給食センターの概要	36
3 学校給食における食育活動	37

IV 社会教育

1 社会教育中期計画	38
2 社会教育施設概要	40
3 社会体育施設概要	44
4 その他の教育関連施設概要	51
5 施設利用状況	52
6 栗山町の文化財	55

V 北海道介護福祉学校

1 学校の概要	57
2 学校の特色	58
3 施設の概要	58
4 生徒数の推移と就職状況	59

VI 公益信託松原記念奨学基金

1 奨学基金積立金の推移	60
2 給・貸与奨学金額の経緯	61
3 奨学生募集条件	61
4 奨学基金決算状況	62
5 基金運営委員	63

資料

児童生徒表彰(輝け栗っ子賞)	64
子ども夢づくり基金	65
中学生卒業後の進路状況	67
栗山町教育委員会表彰	68
栗山町芸術文化振興奨励金.....	69

I 教育委員会

1 教育委員

(令和7年4月1日現在)

役職名	氏 名	年齢	就任年月日
教育長	吉 田 政 和	62	令和3年10月1日(2期目)
教育長職務代理人	井 上 博 幸	65	平成19年11月22日(6期目)
教育委員	岡 本 玉 季	56	平成27年6月10日(3期目)
教育委員	上 坂 永 子	58	令和2年12月22日(2期目)
教育委員	橘 高 博	54	令和4年12月20日(1期目)

2 歴代教育委員長

氏 名	就任年月日	退任年月日
奥 田 輝 生	昭和27年11月1日	昭和34年4月20日
実 吉 安 久	昭和34年4月7日	昭和39年11月20日
小 埜 栄 一	昭和39年11月21日	昭和45年9月30日
嶋 田 一 雄	昭和45年12月16日	昭和53年12月15日
佐 藤 松 見	昭和53年12月22日	昭和56年9月30日
高 野 良 弥	昭和56年10月5日	平成元年9月30日
小 林 米 三 郎	平成元年10月2日	平成10年3月31日
磯 野 武 司	平成10年6月5日	平成22年12月19日
湯 地 定 暁	平成22年12月20日	平成27年9月30日

※ 平成27年4月1日施行の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」により
教育委員長は平成27年10月1日に廃止

3 歴代教育長

氏 名	就任年月日	退任年月日
桂 芳 弘	昭和 27 年 11 月 1 日	昭和 28 年 3 月 31 日
沢 崎 松 四 郎	昭和 29 年 5 月 1 日	昭和 30 年 4 月 8 日
小 野 三 男	昭和 31 年 10 月 1 日	昭和 34 年 9 月 25 日
片 岡 松 郎	昭和 34 年 12 月 22 日	昭和 39 年 10 月 1 日
実 吉 安 久	昭和 39 年 11 月 21 日	昭和 43 年 12 月 30 日
高 田 恒 規	昭和 44 年 2 月 19 日	昭和 58 年 9 月 30 日
藤 森 静 一	昭和 58 年 10 月 11 日	平成 3 年 9 月 30 日
中 島 卓	平成 3 年 10 月 4 日	平成 11 年 9 月 30 日
中 村 淑	平成 11 年 10 月 8 日	平成 18 年 6 月 30 日
鈴 木 紀 元	平成 18 年 7 月 1 日	平成 27 年 9 月 30 日
南 條 宏	平成 27 年 10 月 1 日	令和 3 年 9 月 30 日

4 歴代教育長職務代理者

氏 名	就任年月日	退任年月日
湯 地 定 暁	平成 27 年 10 月 1 日	令和 2 年 12 月 21 日

5 歴代教育委員

氏 名	就任年月日	退任年月日
奥 田 輝 生	昭和 27 年 11 月 1 日	昭和 34 年 4 月 20 日
井 実 章 夫	昭和 27 年 11 月 1 日	昭和 38 年 12 月 20 日
村 上 太 作	昭和 27 年 11 月 1 日	昭和 35 年 8 月
両 角 信 治	昭和 27 年 11 月 1 日	昭和 30 年 3 月 31 日
沢 田 与 吉	昭和 27 年 11 月 1 日	昭和 28 年 6 月 30 日

氏 名	就任年月日	退任年月日
沢 崎 松 四 郎	昭 和 28 年 4 月 1 日	昭 和 30 年 4 月 8 日
友 成 実	昭 和 28 年 8 月 12 日	昭 和 31 年 9 月 30 日
福 永 光 雄	昭 和 30 年 4 月 30 日	昭 和 31 年 9 月 30 日
池 田 忠 信	昭 和 30 年 5 月 12 日	昭 和 30 年 10 月 28 日
小 野 三 男	昭 和 30 年 6 月 30 日	昭 和 34 年 9 月 25 日
成 田 耕 三 郎	昭 和 30 年 12 月 4 日	昭 和 31 年 9 月 30 日
谷 田 勝	昭 和 31 年 10 月 1 日	昭 和 39 年 9 月 30 日
実 吉 安 久	昭 和 31 年 10 月 1 日	昭 和 43 年 12 月 30 日
中 谷 市 之 進	昭 和 34 年 5 月 8 日	昭 和 38 年 4 月 20 日
片 岡 松 郎	昭 和 34 年 12 月 22 日	昭 和 39 年 10 月 1 日
山 本 權 蔵	昭 和 38 年 6 月 27 日	昭 和 44 年 9 月 30 日
小 埜 栄 一	昭 和 39 年 1 月 23 日	昭 和 45 年 9 月 30 日
小 幡 大 秀	昭 和 39 年 11 月 19 日	昭 和 43 年 11 月 19 日
大 友 米 吉	昭 和 39 年 11 月 19 日	昭 和 44 年 9 月 9 日
高 田 恒 規	昭 和 44 年 2 月 19 日	昭 和 58 年 9 月 30 日
上 坂 浩 司	昭 和 44 年 10 月 1 日	昭 和 51 年 11 月 19 日
佐 藤 松 見	昭 和 44 年 10 月 1 日	昭 和 56 年 9 月 30 日
嶋 田 一 雄	昭 和 45 年 12 月 16 日	昭 和 53 年 12 月 15 日
千 葉 茂	昭 和 51 年 11 月 22 日	昭 和 55 年 11 月 21 日
佐 藤 良 次	昭 和 51 年 11 月 22 日	昭 和 62 年 3 月 26 日
市 村 克 美	昭 和 53 年 12 月 20 日	昭 和 55 年 1 月 4 日
小 林 米 三 郎	昭 和 55 年 4 月 1 日	平 成 10 年 3 月 31 日
中 島 真	昭 和 55 年 12 月 20 日	昭 和 63 年 12 月 19 日
高 野 良 弥	昭 和 56 年 10 月 1 日	平 成 元 年 9 月 30 日
藤 森 静 一	昭 和 58 年 10 月 1 日	平 成 3 年 9 月 30 日

氏 名	就任年月日	退任年月日
鹿 澤 政 市	昭 和 62 年 6 月 20 日	平 成 4 年 11 月 21 日
長 澤 彰	昭 和 63 年 12 月 22 日	平 成 3 年 3 月 23 日
坂 本 武	平 成 元 年 10 月 1 日	平 成 13 年 9 月 30 日
大 坪 昇	平 成 3 年 6 月 26 日	平 成 16 年 12 月 21 日
中 島 卓	平 成 3 年 10 月 1 日	平 成 11 年 9 月 30 日
後 藤 ミ ツ	平 成 4 年 11 月 22 日	平 成 8 年 11 月 21 日
西 田 利 子	平 成 8 年 11 月 22 日	平 成 12 年 11 月 21 日
磯 野 武 司	平 成 10 年 5 月 20 日	平 成 22 年 12 月 19 日
中 村 淑	平 成 11 年 10 月 1 日	平 成 18 年 6 月 30 日
及 川 節 子	平 成 12 年 11 月 22 日	平 成 19 年 5 月 30 日
猪 熊 友 子	平 成 13 年 10 月 1 日	平 成 21 年 9 月 30 日
湯 地 定 暁	平 成 16 年 12 月 22 日	令 和 2 年 12 月 22 日
鈴 木 紀 元	平 成 18 年 7 月 1 日	平 成 27 年 9 月 30 日
井 田 一 恵	平 成 21 年 10 月 1 日	平 成 27 年 5 月 23 日
月 輪 淳 裕	平 成 22 年 12 月 20 日	令 和 4 年 12 月 19 日

6 各種委員会・審議会委員

1) 社会教育委員

(令和7年4月1日現在)

氏 名	就任年月日	備 考
木 藤 浩 二	平 成 21 年 4 月 1 日	委員長
原 田 優 司	平 成 23 年 4 月 1 日	副委員長
田 村 賢 治	平 成 27 年 4 月 1 日	副委員長
太 田 逸 郎	平 成 27 年 4 月 1 日	
腰 本 江 里 沙	平 成 31 年 4 月 1 日	
中 井 美 希	平 成 31 年 4 月 1 日	

氏 名	就任年月日	備 考
野 澤 香	令 和 3 年 4 月 1 日	
佐 藤 直 樹	令 和 5 年 4 月 1 日	
古 野 淳 子	令 和 5 年 4 月 1 日	
棗 棠 隆 英	令 和 5 年 4 月 1 日	
金 谷 美 咲	令 和 5 年 4 月 1 日	
村 上 美 佳	令 和 7 年 4 月 1 日	
梅 津 学	令 和 7 年 4 月 1 日	
高 橋 舞	令 和 7 年 4 月 1 日	
土 谷 直 樹	令 和 7 年 4 月 1 日	栗山小学校校長
長 崎 卓 也	令 和 6 年 4 月 1 日	栗山中学校校長

2)スポーツ推進委員

(令和7年4月1日現在)

氏 名	就任年月日	備 考
高 石 賢 治	平 成 13 年 4 月 1 日	委員長
松 本 達 也	平 成 17 年 4 月 1 日	副委員長
佐 藤 直 樹	平 成 17 年 4 月 1 日	
大 塚 崇	平 成 23 年 4 月 1 日	
長 澤 綱 士	平 成 27 年 4 月 1 日	
鈴 木 由美子	平 成 29 年 4 月 1 日	
小 山 内 匡 志	平 成 31 年 4 月 1 日	
西 田 茉 鈴	令 和 3 年 4 月 1 日	
相 原 貴 弘	令 和 5 年 4 月 1 日	
志 田 和 男	令 和 5 年 4 月 1 日	
南 部 晃 崇	令 和 5 年 4 月 1 日	
渡 邊 みちよ	令 和 6 年 4 月 1 日	

3)文化財保護委員

(令和7年4月1日現在)

氏 名	就任年月日	備 考
青 木 隆 夫	平成 30 年 4 月 1 日	委員長
近 藤 光 弘	令和 2 年 4 月 1 日	副委員長
太 田 宏 幸	平成 27 年 4 月 1 日	
腰 本 江 里 沙	令和 4 年 4 月 1 日	
坂 下 明 彦	令和 6 年 4 月 1 日	
島 雅 昭	令和 6 年 4 月 1 日	

4)学校運営協議会委員

(令和7年4月1日現在)

氏 名	就任年月日	備 考
中 田 欽 三	令和 7 年 4 月 1 日	栗山小学校
山 形 香 奈	令和 7 年 4 月 1 日	栗山小学校
吉 田 智 美	令和 7 年 4 月 1 日	栗山小学校
笹 浪 和 博	令和 7 年 4 月 1 日	栗山小学校
古 瀬 一 芳	令和 7 年 4 月 1 日	栗山小学校
檜 崎 忠 彦	令和 7 年 4 月 1 日	栗山小学校
西 岡 政 則	令和 7 年 4 月 1 日	栗山小学校
高 橋 信	令和 7 年 4 月 1 日	栗山小学校
宮 林 葉 月	令和 7 年 4 月 1 日	栗山小学校
鷲 尾 正 臣	令和 7 年 4 月 1 日	角田小学校
月 輪 淳 紹	令和 7 年 4 月 1 日	角田小学校
西 野 恒	令和 7 年 4 月 1 日	角田小学校
古 田 留 美	令和 7 年 4 月 1 日	角田小学校
田 村 賢 治	令和 7 年 4 月 1 日	角田小学校
加 可 谷 望 美	令和 7 年 4 月 1 日	角田小学校
水 内 正 博	令和 7 年 4 月 1 日	角田小学校

氏 名	就任年月日	備 考
白 坂 裕 美 子	令 和 7 年 4 月 1 日	角田小学校
喜 多 村 大 吾	令 和 7 年 4 月 1 日	継立小学校
岸 田 慶 志	令 和 7 年 4 月 1 日	継立小学校
大 野 浩 司	令 和 7 年 4 月 1 日	継立小学校
不 破 潤	令 和 7 年 4 月 1 日	継立小学校
喜 多 村 茂 広	令 和 7 年 4 月 1 日	継立小学校
竹 内 和 夫	令 和 7 年 4 月 1 日	継立小学校
池 野 規 晶	令 和 7 年 4 月 1 日	継立小学校
佐 藤 直 樹	令 和 7 年 4 月 1 日	継立小学校
日 原 めぐみ	令 和 7 年 4 月 1 日	継立小学校
高 橋 慎	令 和 7 年 4 月 1 日	栗山中学校
丸 山 俊 信	令 和 7 年 4 月 1 日	栗山中学校
南 坂 一 明	令 和 7 年 4 月 1 日	栗山中学校
内 田 貴 士	令 和 7 年 4 月 1 日	栗山中学校
古 田 敏 幸	令 和 7 年 4 月 1 日	栗山中学校
橋 元 幸 士	令 和 7 年 4 月 1 日	栗山中学校
太 田 逸 郎	令 和 7 年 4 月 1 日	栗山中学校
原 田 優 司	令 和 7 年 4 月 1 日	栗山中学校
坂 口 卓 也	令 和 7 年 4 月 1 日	栗山中学校

5) 通学路安全推進協議会委員

(令和7年4月1日現在)

氏 名	就任年月日	備 考
高 梨 祐 祐	令 和 7 年 4 月 1 日	
其 田 晋	令 和 7 年 4 月 1 日	
沼 田 和 久	令 和 7 年 4 月 1 日	
佐々木 英 幸	令 和 7 年 4 月 1 日	

氏 名	就任年月日	備 考
川 元 海 洋	令 和 7 年 4 月 1 日	会長
梶 沼 登 資	令 和 7 年 4 月 1 日	副会長
谷 内 篤 史	令 和 7 年 4 月 1 日	
越 前 谷 徹	令 和 7 年 4 月 1 日	
坂 上 大 介	令 和 7 年 4 月 1 日	
杉 本 整 昭	令 和 7 年 4 月 1 日	
松 村 和 人	令 和 7 年 4 月 1 日	
谷 口 良 之	令 和 7 年 4 月 1 日	
野 原 修	令 和 7 年 4 月 1 日	
宮 林 葉 月	令 和 7 年 4 月 1 日	
桑 島 克 典	令 和 7 年 4 月 1 日	

6) 学校給食センター運営委員会委員

(令和7年3月31日現在)

氏 名	就任年月日	備 考
坂 口 卓 也	令 和 5 年 4 月 1 日	運営委員長
谷 内 恵 子	令 和 6 年 4 月 1 日	副運営委員長
土 谷 直 樹	令 和 4 年 4 月 1 日	副運営委員長
小 玉 剛	令 和 5 年 4 月 1 日	
鈴 木 祐 子	令 和 5 年 4 月 1 日	
長 崎 卓 也	令 和 6 年 4 月 1 日	
川 崎 裕 美	令 和 5 年 4 月 1 日	
岸 田 慶 志	令 和 5 年 4 月 1 日	
西 見 寿 博	平 成 27 年 4 月 1 日	
島 田 光 平	令 和 6 年 4 月 1 日	
工 藤 由 香	令 和 6 年 4 月 1 日	
佐 藤 晶 子	令 和 3 年 7 月 14 日	

8) 栗山町いじめ問題専門委員会

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

氏 名	就任年月日	備 考
石 岡 浩 一	令 和 5 年 11 月 16 日	
西 見 寿 博	令 和 5 年 11 月 16 日	
佐 藤 陽 美	令 和 5 年 11 月 16 日	
佐 藤 暁 美	令 和 5 年 11 月 16 日	副委員長
山 田 晃 博	令 和 5 年 11 月 16 日	
鈴 木 文 子	令 和 5 年 11 月 16 日	
宮 林 葉 月	令 和 5 年 11 月 16 日	
鈴 木 祐 子	令 和 5 年 11 月 16 日	

※委員長は任期中に逝去されたため、令和 7 年 3 月 31 日現在では不在

9) 栗山町立小中学校再編準備委員会

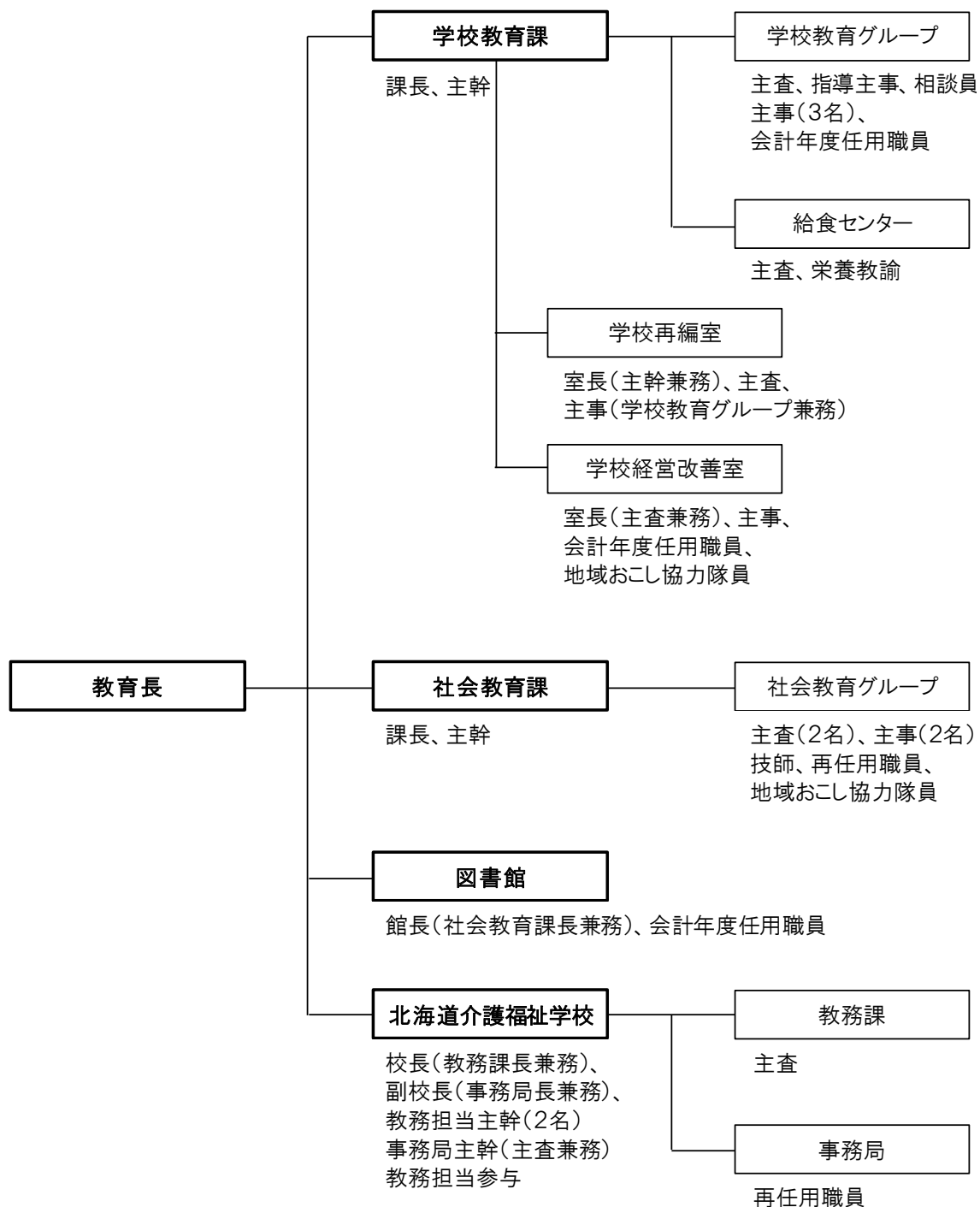
(令和 7 年 4 月 22 日現在)

氏 名	就任年月日	備 考
土 谷 直 樹	令 和 7 年 4 月 22 日	委員長
奈 良 崎 功	令 和 7 年 4 月 22 日	副委員長
川 元 海 洋	令 和 7 年 4 月 22 日	副委員長
長 崎 卓 也	令 和 7 年 4 月 22 日	副委員長
菅 原 崇	令 和 7 年 4 月 22 日	
梶 沼 登 資	令 和 7 年 4 月 22 日	
岩 城 勇 太	令 和 7 年 4 月 22 日	
櫻 庭 慎 二 郎	令 和 7 年 4 月 22 日	
木 藤 浩 二	令 和 7 年 4 月 22 日	
原 田 優 司	令 和 7 年 4 月 22 日	
田 村 賢 治	令 和 7 年 4 月 22 日	
棗 棠 隆 英	令 和 7 年 4 月 22 日	
中 田 欽 三	令 和 7 年 4 月 22 日	

氏 名	就任年月日	備 考
鷺 尾 正 臣	令 和 7 年 4 月 22 日	
大 野 浩 司	令 和 7 年 4 月 22 日	
谷 内 篤 史	令 和 7 年 4 月 22 日	

7 組織機構と事務分掌

1) 組織機構



2) 事務分掌

○学校教育課 学校教育グループ

分 類	内 容
教育委員会の総務	・ 教育委員会議業務 (定例教育委員会、臨時教育委員会、協議会) ・ 教委連関係 ・ 秘書用務 ・ 事務局職員の任免、人事 ・ 町費支弁職員の任免 ・ 請願、陳情 ・ 規則、規程の制定、改廃等 ・ 庶務 ・ 教育委員会評価 ・ 総合教育会議 ・ 栗山町教育ビジョン ・ 栗山町教育大綱 ・ 「くりやまの教育」編纂 ・ 公職者管理 ・ 寄附採納 ・ 儀式及び表彰、叙勲、児童生徒表彰
教職員の任免、服務その他人事関係	・ 人事、服務 ・ 査定昇給、勤勉手当 ・ 教員免許 ・ 人事評価 ・ 事故報告公務災害 ・ 体罰調査 ・ 教員業務支援員(スクールサポートスタッフ) ・ 非常勤講師 ・ 退職教員等外部人材活用事業 ・ 永年勤続表彰等
教職員の研修事務	・ 各種講座、研修 ・ 教育振興会
教職員、児童生徒の健康診断・予防	・ 児童生徒の健診 ・ 教職員の健診 ・ フッ化物洗口
教職員の福利厚生	・ 教職員互助会

分 類	内 容
教育相談	・ 教育相談 ・ 不登校児童生徒対応 ・ いじめ防止 ・ 栗山子ども会議 ・ スクールカウンセラー
防犯・安全・不審者情報	・ 防犯安全不審者情報 ・ 広域補導連絡協議会 ・ 通学路安全点検協議会 ・ 栗っ子安全対策推進委員会 ・ 災害等の緊急対応 ・ 事故等の対応
通学区域	・ 通学区域の設定、変更
就学関係	・ スクールバス運営 ・ 学齢簿、転校手続 ・ 区域外通学 ・ 就学猶予、免除 ・ 教育支援(就学指導)就学事務 ・ 就学援助 ・ 特別支援就学奨励費 ・ スポーツ振興センター
学校の組織、編成	・ 学級編制 ・ 定例報告 ・ 学校組織、教職員の配置
学校運営	・ ALT ・ 校長会、教頭会 ・ 学校教育指導(学校訪問) ・ コミュニティスクール ・ ふるさとキャリア学習事業 ・ 水泳授業、スキー授業のサポート ・ 対外派遣費交付金、学校行事交付金 ・ 働き方改革 ・ ICT機器の管理、推進 ・ 教職員道費旅費 ・ 学校予算・学校要望

分 類	内 容
学力向上、教育課程	・ 知能テスト、学力テスト ・ 教育研究指定校 ・ 学校経営計画
特別支援教育	・ 特別支援教育 ・ 特別支援教育協議会 ・ 通級指導(ことばの教室)
教科用図書及び教材教具関係	・ 教科書購入全般 ・ 学校備品管理
学校施設	・ 学校施設整備 ・ 学校管理委託
財産管理	・ 教職員住宅管理
学校及びその他の教育機関の設置、廃止等	・ 教育機関の設置、廃止等
教育調査、統計	・ 地方教育費調査 ・ 学校基本調査
奨学金	・ 松原奨学基金 ・ 日本育英会
その他学校教育に関すること	・ 栗山町子ども夢づくり基金

○学校教育課 学校再編室

分 類	内 容
小中学校の適正規模及び適正配置	・ 栗山町立学校再編庁内プロジェクトチーム ・ 栗山町立小中学校再編準備委員会
小中一貫教育の推進	
学校再編準備に係る条例、規則、規程の制定、改廃及び各種計画の策定、改定等	・ 学校設置条例、町総合計画に関すること
その他、学校再編に関する事項等	・ 適正配置に関する情報発信、共有、記録等

○学校教育課 給食センター

分 類	内 容
庶務	・ 調査報告等 ・ 職員及び会計年度任用職員
施設管理	・ 施設管理
車両管理	・ 委託業務による給食車の管理及び整備
給食業務	・ 調理従事職員の総括調理指導 ・ 給食調理及び付属作業 ・ 調理室の機械器具等の管理及び清掃
物資の発注・検収	・ 物資の発注検収
給食配送	・ 委託業務による給食物資の確認及び配送
在庫調査	・ 給食物資の在庫調査
食物アレルギー対応	・ ガイドラインの作成
給食費負担金	・ 賦課、徴収、滞納処理
給食の献立	・ 献立
食育指導	・ 食育指導
その他学校給食に関すること	・ 学校給食事務等担当者等会議 ・ 学校給食運営委員会

○学校教育課 学校経営改善室

分 類	内 容
栗山高等学校の支援、魅力づくり	・ 北海道栗山高等学校を支える会 ・ 魅力化ビジョン推進会議 ・ 北海道栗山高等学校支援策の検討 ・ 栗山高等学校との連絡調整 ・ 北海道教育委員会との連絡調整 ・ 町長部局との連絡調整 ・ 北海道教育委員会との連絡調整 ・ 支援補助金 ・ 生徒募集 ・ 女子野球
北海道介護福祉学校の経営改善	・ 経営改善 ・ 栗山高等学校との連携
栗山町学生寮の管理運営	・ 管理運営 ・ 別館増築

○社会教育課 社会教育グループ

分 類	内 容
幼児教育・家庭教育	・ 家庭教育推進に関すること ・ 家庭教育サポート企業等
青少年育成推進	・ 栗山キッズクラブに関すること ・ 青少年育成会に関すること
社会教育	・ 社会教育委員会議に関すること ・ 町民講座に関すること ・ いきいきスクールに関すること ・ 地域教育協議会に関すること ・ 青年教育に関すること ・ 女性教育に関すること
地域間交流	・ 少年ジェット派遣事業に関すること ・ 姉妹都市子ども交歓のつどいに関すること ・ 勤労青年国内研修に関すること ・ 英語コミュニケーションスキル研修に関すること
大学連携	・ 協定大学との連携に関すること
社会教育施設	・ 南部公民館の管理に関すること ・ カルチャープラザ Eki の管理に関すること ・ 農村環境改善センターの管理に関すること ・ 公共施設使用料審査に関すること
総合福祉センター・あさひ工房の管理運営に関すること	・ 施設使用・使用料の徴収に関すること ・ 管理業務の委託、指導監督に関すること ・ 施設及び周辺の維持管理に関すること
音楽鑑賞事業	・ 札幌ひなまつりコンサートに関すること ・ 室内楽コンサートに関すること
芸術文化鑑賞事業	・ カルチャープラザ運営実行委員会に関すること
芸術文化の振興に関すること	・ 芸術文化人の活動支援に関すること ・ 文化振興基金に関すること
木工工房(ギャラリーキロル)に関する こと	・ 施設及び周辺の維持管理
総合文化祭に関すること	・ 芸術祭に関すること ・ 音楽祭に関すること
栗山町文化連盟に関すること	・ 栗山町文化連盟の支援に関すること ・ くりやま芸能祭に関すること ・ 栗山菊花展に関すること

分 類	内 容
文化財保護・保存事業に関すること	・ 文化財保護委員会に関すること ・ 郷土芸能及び伝統文化の保存、団体育成に関すること ・ 文化財資料収集、保存、補修に関すること ・ 埋蔵文化財の調査研究に関すること ・ 古文書の解読、整理保存に関すること ・ 歴史的建造物(小林酒造)保存活用に関すること ・ 口承文学に関すること
開拓記念館事業に関すること	・ 開拓記念館広報「アノロ」及び郷土資料、小誌発行に関すること ・ 研究員が行う資料の収集・保管・調査研究及び教育普及活動への支援に関すること ・ 指定管理業務に関すること
国蝶オオムラサキの生息環境の保全、生態の公開に関すること	・ 国蝶オオムラサキ育成保護事業に関すること ・ ファーブルの森の管理に関すること ・ オオムラサキ館の管理に関すること
ハサンベツ里山づくりの町民活動の支援に関すること	・ 里山環境の整備に関すること ・ 地域おこし協力隊に関すること ・ ハサンベツ里山計画実行委員会など団体の支援に関すること ・ 夕張川及び流域の保全・活用に関すること
人と自然との共生に関すること	・ 中長期計画に関すること
ふるさと自然体験教育の推進と雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウスの利活用に関すること	・ ふるさと自然体験教育委託業務に関すること ・ 雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウスの利活用に関すること
雨煙別川流域河川整備の推進	・ 雨煙別川産卵床整備に関すること ・ 河川環境整備の周知に関すること
自然環境ホームページに関すること	・ 自然環境ホームページに関すること
スポーツ推進計画の策定に関すること	・ 社会体育、スポーツ推進資料の作成に関すること
スポーツ推進委員に関すること	・ スポーツ推進委員の選任・育成に関すること ・ 全体会議・各部会等に関すること ・ スポーツ行事の開催に関すること
総合型地域スポーツクラブの支援に関すること	・ 総合型地域スポーツクラブの支援

分 類	内 容
スポーツ協会に関すること	・ スポーツ協会事務局業務に関すること
スポーツ少年団に関すること	・ 少年団本部の事務局業務に関すること
社会体育指定管理施設の管理運営に関すること	・ スポーツセンター、総合グラウンド、栗夢広場、運動公園、ふじスポーツ広場、ふじ交流センター、町民球場、公園球場、弓道場、栗山・角田・継立水泳プールの指定管理に関すること
パークゴルフコース指定管理施設の管理運営に関すること	・ 栗山ダムパークゴルフコースの指定管理に関すること
くりやまハーフマラソンに関すること	・ くりやまハーフマラソンに関すること
社会体育施設(町施設)に関すること	・ 栗山公園テニスコートの管理運営に関すること ・ 御園パークゴルフコースの管理運営に関すること ・ 北長沼スキー場に関すること

○図書館

分 類	内 容
読書活動推進	・ 指定管理業務 ・ ミニくりプロジェクト学校図書室事業に関すること ・ 子育てブックスタートに関すること ・ 栗山ふるさと文庫に関すること ・ 図書館システム更新、備品購入に関すること

○北海道介護福祉学校

分 類	内 容
事務局	・ 諸儀式及び褒章 ・ 公印の管理 ・ 学校財産の管理 ・ 文書の収受、発送、保管 ・ 条例、規則、規程、校則等の制定及び改廃 ・ 調査統計及び広報 ・ 学生の諸願届及び諸証明書 ・ 学生の各種資格申請 ・ 予算の経理 ・ 授業料等の収受 ・ 授業料の減免 ・ 特待生の認定 ・ 各種奨学金の申請、償還 ・ 学生寮の入退去 ・ 防火管理 ・ 教職員の研修、講習 ・ 学校図書購入及び管理
教務課	・ 教育課程、授業及び休業 ・ 入学、休学、退学、復学及び卒業 ・ 試験及び学習評価 ・ 非常勤講師 ・ 学籍簿の整理及び管理 ・ 学生の実習、講習及び研修 ・ 学生の生活指導及び福利厚生 ・ 学生の進路相談 ・ 学生の課外活動 ・ 学生の保健管理 ・ その他教務

8 教育費の推移

1) 一般会計

(単位：千円)

年度	1.教育総務費	2.小学校費	3.中学校費	4.社会教育費	5.保健体育費	計
H28	119,703	48,546	28,846	193,475	204,616	595,186
H29	117,982	52,017	27,170	167,897	213,580	578,646
H30	137,434	53,535	25,532	196,455	221,791	634,747
R1	151,401	80,645	26,965	178,191	257,749	694,951
R2	165,475	60,013	31,066	207,262	255,702	719,518
R3	166,531	62,622	30,994	173,430	255,458	689,035
R4	191,459	56,340	27,832	173,549	252,086	701,266
R5	201,988	106,192	52,609	189,605	288,740	839,134
R6	227,787	162,310	59,442	185,575	303,366	938,480
R7	305,428	109,379	53,097	196,625	287,985	952,514

※当初予算値

2) 北海道介護福祉学校特別会計

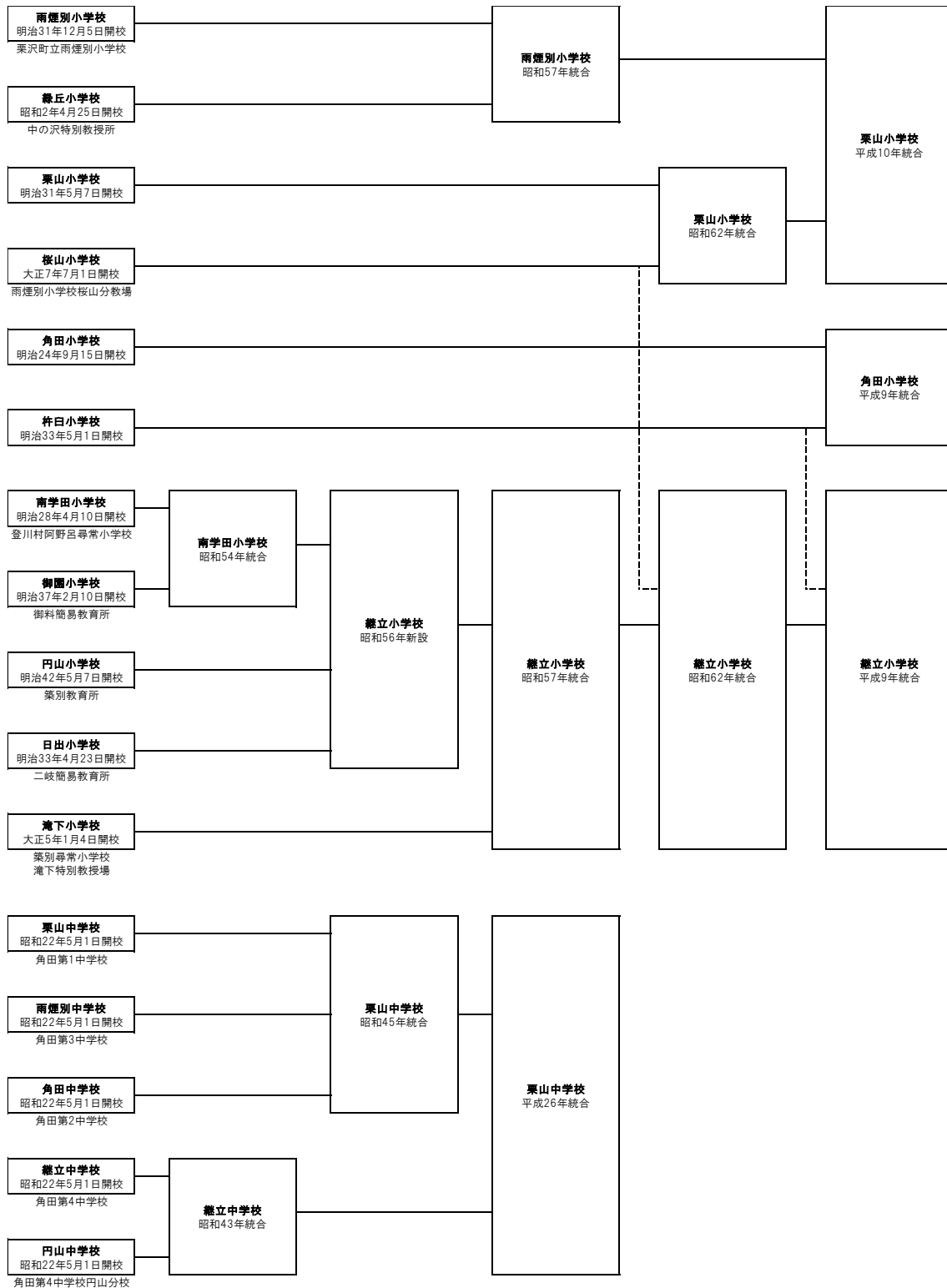
(単位：千円)

年度	1.教育費	2.公債費	3.予備費	計
H28	111,882	948	100	112,930
H29	112,911	1,259	100	114,270
H30	120,647	1,253	100	122,000
R1	121,037	1,253	100	122,390
R2	106,808	1,262	100	108,170
R3	102,018	1,252	100	103,370
R4	105,470	1,490	100	107,060
R5	107,400	1,490	100	108,990
R6	111,322	1,508	100	112,930
R7	110,876	604	100	111,580

※当初予算値

II 学校教育

1 小中学校の統廃合の変遷



2 児童生徒数・学級数の推移

1) 小学校

(単位：人・級)

年度	栗山小		角田小		継立小		雨煙別小		緑丘小		桜山小		杵臼小	
	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級
S50	1,022	26	194	6	-	-	79	5	14	2	16	2	76	6
S55	1,123	30	214	7	-	-	45	3	7	2	22	3	62	5
S60	1,033	31	200	6	228	8	51	4	0	0	16	3	42	4
H2	744	23	175	6	166	6	50	5	-	-	-	-	55	5
H7	606	21	122	6	119	7	35	5	-	-	-	-	29	3
H12	577	21	98	7	109	6	-	-	-	-	-	-	-	-
H17	545	21	86	8	83	6	-	-	-	-	-	-	-	-
H22	513	21	62	7	71	8	-	-	-	-	-	-	-	-
H27	406	16	45	5	47	8	-	-	-	-	-	-	-	-
R元	392	17	59	7	52	7	-	-	-	-	-	-	-	-
R5	331	18	53	7	48	5	-	-	-	-	-	-	-	-
R6	313	17	54	7	41	4	-	-	-	-	-	-	-	-
R7	294	17	45	6	37	4	-	-	-	-	-	-	-	-

年度	南学田小		御園小		円山小		日出小		滝下小		計	
	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級
S50	192	6	51	3	42	3	45	4	7	2	1,738	65
S55	209	6	-	-	21	3	30	3	4	2	1,737	64
S60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,570	56
H2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,190	45
H7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	911	42
H12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	784	34
H17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	714	35
H22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	646	36
H27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	498	29
R元	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	503	31
R5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	432	30
R6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	408	28
R7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	376	27

※各年度 5 月 1 日時点（令和 7 年度のみ 4 月 1 日時点）

2) 中学校

(単位：人・級)

年度	栗山中		継立中		計	
	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級
S50	666	17	186	6	852	23
S55	643	17	156	6	799	23
S60	713	18	144	5	857	23
H2	628	19	101	4	729	23
H7	454	13	72	3	526	16
H12	355	11	63	4	418	15
H17	317	12	52	3	369	15
H22	319	12	33	3	352	15
H27	320	12	-	-	320	12
R元	250	11	-	-	250	11
R5	241	11	-	-	241	11
R6	255	12	-	-	255	12
R7	259	10	-	-	259	10

※各年度 5 月 1 日時点（令和 7 年度のみ 4 月 1 日時点）

3) 合計

(単位：人・級)

年度	児童生徒	学級
S50	2,590	88
S55	2,536	87
S60	2,427	79
H2	1,919	68
H7	1,437	58
H12	1,202	49
H17	1,083	50
H22	998	51
H27	818	41
R元	753	42
R5	673	41
R6	663	40
R7	635	37

※各年度 5 月 1 日時点（令和 7 年度のみ 4 月 1 日時点）

3 各小中学校の概要

1) 栗山町立栗山小学校



所在地	栗山町中央 3 丁目 311 番地 1
校長・教頭 主幹教諭	校長 土谷 直樹 教頭 菅原 崇 主幹教諭 磯部 俊彦
職員数	教諭 25 名 養護教諭 1 名 栄養教諭 1 名 事務職員 1 名 時間講師 1 名 臨時事務職員 1 名 特別支援教育支援員 6 名
児童数	294 名
学級数	17 学級(特別支援学級 5 学級含む)
校舎概要	敷地面積 39,787 m ² 校舎面積 7,401 m ²
創立年月日	明治 31 年 5 月 7 日
校訓	未制定
学校の 教育目標	心豊かに 学び豊かに 《明るく・楽しく・美しく》 くじけない子 りはつな子 やさしい子 まっすぐな子

学校の沿革等

明治 31 年	栗山尋常小学校(現錦 4 丁目)創立認可
明治 33 年	尋常補習科を併置
明治 35 年	高等科併設、「栗山尋常高等小学校」となる
明治 43 年	現中央 3 丁目に校舎新築移転
大正 15 年	校舎増築、屋内運動場完成
昭和 8 年	校章、校旗、校歌(旧)を制定
昭和 16 年	教育制度改正「栗山国民学校」と改める
昭和 22 年	新学制施行「角田村立栗山小学校」となる 「栗山小学校父母と先生の会」発足
昭和 23 年	開校 50 周年記念式典挙行
昭和 24 年	町制施行「角田村」から「栗山町」に 「栗山町立栗山小学校」となる

昭和 31 年	新校歌(現)制定
昭和 33 年	新体育館完成 開校 60 周年記念式典挙行
昭和 34 年	学校給食が開始
昭和 35 年	子供銀行が知事表彰
昭和 36 年	合唱コンクールで全空知1位
昭和 37 年	全道学生書道展で最優勝校
昭和 40 年	学級学年PTA組織ができる
昭和 43 年	開校 70 周年記念式典挙行
昭和 50 年	優秀PTAとして文部大臣表彰 新校舎建築工事開始
昭和 52 年	新校舎完成(現在地)
昭和 53 年	体育館完成
昭和 54 年	新校舎落成、開校 80 周年記念式典挙行
昭和 62 年	桜山小学校と統合
昭和 63 年	開校 90 周年記念式典挙行
平成元年	開校 90 周年記念「夢と希望の鐘」完成 NHK学校コンクール空知地区大会銀賞
平成 2 年	NHK学校コンクール空知地区大会金賞
平成 3 年	NHK学校コンクール空知地区大会金賞、全道大会銀賞
平成 9 年	ことばの教室、幼児は子育て支援センターへ
平成 10 年	雨煙別小学校と統合 開校 100 周年記念式典挙行
平成 14 年	コンピュータ教室設置
平成 20 年	コンピュータ 40 台更新
平成 21 年	校門改修工事、校舎屋上防水工事 地上デジタルテレビ 25 台・放送設備、机・椅子 535 組更新
平成 22 年	ノートパソコン 41 台設置 校舎耐震化工事、トイレ暖房 20 台寄贈
平成 23 年	校舎外壁・内装工事
平成 24 年	校舎水道管工事
平成 25 年	ボイラー室煙突・煙道掃除
平成 26 年	学校運営協議会準備委員会設置
平成 27 年	電子黒板 2 台・実物投影機 2 台・iPad42 台寄贈
平成 28 年	土曜授業実施(年 4 回)

平成 29 年	トイレの洋式化(2 基) 体育館・視聴覚室ガラススクリーン設置 グラウンド整備作業(建設協会) 網戸設置
平成 30 年	日本ハムファイターズ応援大使来校 体育館音響工事 非常用放送スピーカーの設置(ことばの教室) 臨時休校 4 日(台風 1 日、胆振東部地震による停電 2 日、吹雪 1 日)
令和元年	グラウンド整備 遊具新設(ジャングルジム) 白樺の木十数本伐採 グラウンドバックネット撤去(南大通り側) 教職員パソコンの更新 児童用パソコン(タブレット型)の更新 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休業(2/27～3/25)
令和 2 年	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休業(4/20～5/31) 運動会中止 エアコン設置(各学級) 扇風機設置(各学級) 衛生設備整備 暖房機交換 校内無線LAN交換整備 教室内ICT機器整備 児童用タブレット端末整備 空気清浄機 19 台寄贈
令和 3 年	教育課程実践検証協力校事業指定校 学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業指定校 北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業協力校 全国学力・学習状況調査のCBT化に向けた令和 3 年度試行・検証実証校 栗山町教育振興会指定公開研究会開催(11 月 12 日) 令和3年度空知管内教育実践表彰受賞
令和 4 年	北海道立教育研究所附属理科教育センター研究指定協力校 教職員弘済会教育研究実践校表彰 租税教育推進実践校表彰 新型コロナウイルス感染症による学級・学年・学校閉鎖
令和 5 年	体育館天井等改修工事 猛暑によりプール使用中止 校務用パソコン更新

令和 6 年	非常用発電機設備整備工事
	空調設備整備工事
	学校駐車場白線整備
	グラウンド入口整備

2) 栗山町立角田小学校



所 在 地	栗山町角田 17 番地
校 長・教 頭	校 長 奈良崎 功 教 頭 梶沼 登資
職 員 数	教諭 6 名 養護教諭 1 名 事務職員 1 名 臨時事務職員 1 名 特別支援教育支援員 1 名
児 童 数	45 名
学 級 数	6 学級(特別支援学級 2 学級含む)
校 舎 概 要	敷地面積 26,145 m ² 校舎面積 3,149 m ²
創立年月日	明治 24 年 9 月 15 日
校 訓	きょうもみんなでがんばるぞ きれいな学校 よい子ども
学 校 の 教 育 目 標	支えあい、自分らしく生きる子どもの育成(徳) 自ら考え、たくましく生きる子どもの育成(知) 高めあい、すこやかに生きる子どもの育成(体) 自然に親しみ、ふるさと栗山を愛する子どもの育成 (ふるさととは栗山です)

学校の沿革等

明治 24 年	簡易小学校設立認可
明治 25 年	校舎落成
明治 28 年	修業 3 年の第一類小学校、修業 2 年の補修科併設
明治 29 年	裁縫科開設
明治 30 年	修業 4 年の尋常小学校、教員住宅新築
明治 34 年	校地変更、全校舎改築落成
明治 38 年	角田農業補修学校付設
明治 41 年	小学校令改正により尋常科 6 年・高等科 2 年 道庁訓令により名誉旗授受 屋内運動場増改築

大正 11 年	付設農業学校廃止
大正 13 年	全校舎移転改築
昭和 9 年	教育制度改正「角田国民学校」となる
昭和 16 年	新学制施行「角田村立角田小学校」となる
昭和 22 年	町制施行「栗山町立角田小学校」となる
昭和 24 年	開校 60 周年記念式典挙行
昭和 26 年	開校 70 周年記念式典挙行
昭和 36 年	青少年赤十字結団加盟
昭和 38 年	武田義清先生胸像建立
昭和 42 年	PTAが道P連表彰、町プール新設
昭和 44 年	角田中学校敷地を校地に編入
昭和 45 年	開校 80 周年記念式典挙行
昭和 46 年	赤十字百年記念全国大会で表彰
昭和 52 年	北海道善行賞受賞
昭和 54 年	青い目の人形里帰りに参加
昭和 56 年	開校 90 周年記念式典挙行
昭和 60 年	新校舎改築工事着工 新校舎使用開始
昭和 62 年	新校舎・講堂落成記念式典挙行
昭和 63 年	青い目の人形里帰り
平成元年	青い目の人形帰校
平成 2 年	青少年赤十字奉仕活動が厚生大臣賞受賞 「百年広場」完成披露
平成 4 年	町交通安全広報紙最優秀賞
平成 8 年	赤い羽根共同募金 50 周年特別表彰 杵臼小学校と統合
平成 9 年	青少年赤十字活動が空知管内教育実践表彰
平成 10 年	開校 110 年記念式典挙行、記念誌黄金樹発行
平成 13 年	パソコン教室設営、パソコン 22 台設置
平成 14 年	財団法人全日本交通安全協会より交通安全教育活動に対し、 優良学校として全国表彰
平成 20 年	交通安全教育活動に対し栗山警察署長より優良学校として表彰
平成 21 年	校内ネットワーク(無線LAN)整備
平成 22 年	開校 120 周年記念式典挙行
平成 23 年	協賛会より電子黒板一式寄贈
平成 24 年	校舎内に角田学童クラブ設置
平成 26 年	土曜授業開始 学校運営協議会準備委員会設置

平成 27 年	電子黒板 1 台・実物投影機 1 台・iPad18 台寄贈
平成 29 年	講堂・屋根塗装工事
令和元年	講堂半面カーテン取替え
令和 3 年	開校130 周年記念日
令和 4 年	開校130 周年運動会
令和 6 年	職員室・校長室エアコン設置

3) 栗山町立継立小学校



所 在 地	栗山町字継立 191 番地 1
校 長・教 頭	校 長 川元 海洋 教 頭 岩城 勇太
職 員 数	教諭 5 名 養護教諭 1 名 事務職員 3 名 特別支援教育支援員 1 名
児 童 数	37 名
学 級 数	4 学級
校 舎 概 要	敷地面積 26,650 m ² 校舎面積 3,809 m ²
創立年月日	昭和 56 年 4 月 1 日
校 訓	『和と創造』 なかよく、考えてつくる
学 校 の 教 育 目 標	深く考えて 本気で学習する子ども(知) 礼儀正しく やる気のある子ども(意) 元気で 根気よく活動する子ども(体) 自然を大切にし 思いやりのある子ども(情)

学校の沿革等

昭和 54 年	御園小学校が南学田小学校に統合
昭和 55 年	校舎第 1 期工事着工
昭和 56 年	継立小学校認可(南学田・御園・日出・円山小学校の統合) 継立小学校開校式举行 校舎第 2 期工事着工、校舎落成 校章・校旗・校歌制定
昭和 57 年	滝下小学校の統合式举行 体育館落成、落成記念式典举行
昭和 62 年	桜山小学校の一部を統合
昭和 63 年	プール完成
平成 2 年	開校 10 周年記念式典举行

平成 9 年	杵臼小学校閉校に伴い校区を拡大して統合
平成 12 年	開校 20 周年記念式典挙行
平成 14 年	コンピュータ教室設置
平成 22 年	校内LAN設定、ノートパソコン 15 台設置
平成 22 年	開校 30 周年記念式典挙行 30 周年記念協賛会より大型テレビ寄贈
平成 23 年	30 周年記念協賛会より鉄棒寄贈
平成 24 年	校務用パソコン更新
平成 26 年	継立中学校閉校に伴い、『継立中学校同窓会』が『継立小・中同窓会』に移行 土曜授業開始 学校運営協議会準備委員会設置
平成 27 年	電子黒板1台・実物投影機1台・iPad18 台寄贈
平成 29 年	デジタルカメラ・ハンズフリー拡声器・将棋ゲーム・水槽 オセロ・・・ワイヤレスプレゼンター（北陸銀行より寄贈）
平成 30 年	校務用パソコン更新
令和元年	北海道へき地複式教育研究大会（授業公開）
令和 2 年	開校 40 周年記念 第 40 回運動会 GIGAスクール関係整備（端末:Chromebook） エアコン整備

4) 栗山町立栗山中学校



所 在 地	栗山町字湯地 60 番地 9
校長・教頭 主幹教諭	校 長 長崎 卓也 教 頭 櫻庭 慎二郎 主幹教諭 沼辺 敬
職 員 数	教諭 17 名 養護教諭 1 名 事務職員 1 名 時間講師 1 名 臨時事務職員 1 名 特別支援教育支援員 2 名
生 徒 数	259 名
学 級 数	10 学級(特別支援学級 2 学級含む)
校 舎 概 要	敷地面積 34,291 m ² 校舎面積 6,431 m ²
創立年月日	昭和 22 年 5 月 1 日
校 訓	『和衷教学』心を同じくして、共に教え合い、学び合い、高め合う
学 校 の 教 育 目 標	『ふるさと栗山に誇りを持ち 志高く未来を拓く』 (知) 自主・自立を尊び、確かな学びを培う (徳) 友愛と協調の精神に富み、豊かな情操を育む (体) 心身ともに健康でたくましく、最後までやり抜く力を養う

学校の沿革等

昭和 45 年	栗山・角田・雨煙別の 3 校が統合し栗山中学校開校公示 校章・校歌・校旗制定 栗山中学校 PTA 編制 屋内体育館完成 統合新設開校記念式典挙行
昭和 46 年	栗苑創刊号発刊 統合記念植樹
昭和 49 年	札幌交響楽団特別演奏会開催
昭和 54 年	栗山・角田・雨煙別中学校統合 10 周年記念式典挙行
昭和 56 年	屋内体育館屋根改修工事完了

昭和 59 年	全道中学校駅伝大会優勝
昭和 60 年	グラウンドフェンス工事完了
昭和 61 年	南空知中体連陸上 15 連勝達成
平成 4 年	第 1 回吹奏楽部定期演奏会開催
平成 7 年	全道中体連大会バドミントン女子団体3位
平成 8 年	全道中体連大会バドミントン女子団体準優勝 全国中学バドミントン大会女子団体出場 校舎改築工事着工
平成 9 年	校舎改築工事完了・移転
平成 10 年	統合 30 周年並びに校舎落成記念式典挙行
平成 11 年	全道中体連バドミントン大会女子個人3位
平成 13 年	全道中学校新人剣道大会女子団体3位
平成 14 年	全道中学校陸上大会 棒高跳びで北海道中学校新記録 全道中学校剣道大会女子団体 3 位 竹中平蔵経済財政政策担当大臣来校
平成 15 年	全道中学校新人剣道大会女子団体優勝 全道中学校剣道大会女子団体準優勝・個人戦準優勝 全道 7 人制サッカーU-14 大会準優勝
平成 16 年	全国ジュニア選抜ソフトテニス大会出場
平成 22 年	体育館耐震工事
平成 23 年	全国中学校スキー大会出場
平成 24 年	全国中学校スキー大会出場 全道中学校柔道大会男子個人戦準優勝 全道中学校剣道大会男子団体戦準優勝
平成 25 年	全国中学校スキー大会出場 全道中学校団体対抗ソフトテニス大会3位
平成 26 年	全国中学校スキー大会出場 継立中学校と統合 新校訓制定 全日本中学校陸上大会棒高跳び出場 全日本中学校ソフトテニス大会個人戦出場 「青少年に夢と希望を」作文コンクール石森延男作文賞(最優秀賞) 学校運営協議会準備委員会設置

平成 27 年	電子黒板 2 台・実物投影機 2 台・iPad42 台寄贈 北海道中学新人剣道大会女子団体優勝 北海道中学新人バドミントン大会出場 全道フットサル選手権大会 U14 出場 「青少年に夢と希望を」作文コンクール石森延男作文賞(最優秀賞) 全道ユースフットサル大会出場
平成 28 年	北海道中学校スキー大会出場 北海道中学新人バドミントン大会出場 「青少年に夢と希望を」作文コンクール石森延男作文賞(最優秀賞) 全国選抜中学生剣道大会出場 北海道中学校水泳・陸上競技・サッカー・柔道・ソフトテニス大会出場
平成 29 年	北海道中学新人バドミントン大会出場 北海道中学校スキー大会出場(GSL・SLともに2位) 全国中学校スキー大会出場(GSL・SL) 北海道中学校水泳・陸上競技・剣道・柔道大会出場
平成 30 年	北海道中学校スキー大会出場(GSL・SL) 全道フットサル選手権大会 U14 準優勝 全道中学校陸上・柔道・水泳大会出場
令和元年	全道中学校スキー大会出場 北海道中学校水泳・陸上競技・剣道・柔道大会出場
令和 2 年	全道中学校スキー大会出場
令和 3 年	北海道中学校相撲大会準優勝 北海道中学校柔道大会出場 北海道中学校水泳大会出場 北海道中学校陸上競技大会出場 北海道中学校剣道大会出場 北海道中学校サッカー大会第3位 全国中学校相撲大会出場 道新杯中学選抜卓球大会出場
令和 4 年	北海道中学校スキー大会出場 北海道中学校新人剣道大会男子団体3位 北海道中学校陸上競技大会出場 北海道中学校水泳大会出場 北海道中学校柔道大会出場 北海道中学校剣道大会出場 全日本ジュニアバドミントン選手権大会北海道大会出場 北大マルシェアワード 2022 審査員特別賞 トンボ 1129 デザインコンクール制服デザイン部門優秀賞

Ⅲ 学校給食

学校給食は、学校給食法に基づき児童生徒の心身の健全な発達を促し、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たし、学校における食育の推進を図ることを目的としています。

1 栗山町学校給食の方針

- 1) 食生活への正しい理解と食習慣の形成
- 2) 地元・道内産の食材活用の推進
- 3) 安心・安全な学校給食の提供に向けた環境整備

2 学校給食センターの概要



住 所	栗山町中央 1 丁目 1 番地 2					
開 設 年 月 日	昭和 40 年					
	平成 3 年 1 年 10 日 現在地へ新築移転					
構 造 ・ 規 模	敷地面積 2133.57 m ²					
	建物面積 667.1 m ² (鉄筋コンクリート)					
	調理室	373.6 m ²	食品庫他	19.2 m ²	積出室	15.0 m ²
	コンテナ室	15.0 m ²	残菜処理室	7.6 m ²	機械室	47.3 m ²
	事務室	35.0 m ²	研修室	17.5 m ²	休憩室	38.3 m ²
	その他	98.6 m ²				
建 設 費	336,096 千円(国庫補助金 46,902 千円)					

職 員	学校派遣栄養教諭 1 名 事務職員 1 名 (学校教育グループ主査) ※調理部門・配送等部門は業務委託
調 理 場 様 式	ドライ方式
給 食 方 式	完全給食 週 5 日制 麺月 2 回(月)・パン月 2 回(水)・その他の日はご飯
調 理 能 力	平成 21 年 4 月 1 日から 1,000 食(建設当初 2,000 食)
給 食 提 供 数	小学校 3 校 554 食 中学校 1 校 351 食 職員等 15 食
給食費負担金	小学生 258 円 中学生 308 円

3 学校給食における食育活動

- ・ 安全や衛生に気を付けて準備や後片付けをすることを学びます。
- ・ 教科等の学習で得た知識を確認しています。
- ・ 健康に良い食事のとり方、食品に含まれる栄養素の働きや地場産物などについて、栄養教諭による指導を約半数の学年で行っています(令和 6 年度は、小学 1. 3. 5 年、中学 2 年で実施)。
- ・ 給食だよりでは、健康に良い食事のとり方、食品に含まれる栄養素の働き、慣習行事との関係などについて保護者と一緒に学べるように掲載しています。
- ・ 地産地消や、地場産物の理解促進のため、栗山産食材をふんだんに使った「ふるさと給食」を行っています。令和 6 年度のふるさと給食は 8 月、9 月、10 月の 3 回行いました(令和元年度から令和 6 年度まで 6 年間実施)。

Ⅳ 社会教育

1 社会教育中期計画

1) 計画推進ビジョン

誰もが笑顔で、安心して暮らすまち・・・合言葉は【ふるさと栗山です。】・・・これが「栗山町第6次総合計画」の主題です。そして、教育委員会が担うのは【人々が輝くふるさとづくり】です。

【人々が輝くふるさとづくり】は、本町の教育行政執行の合言葉です。私たちはこの合言葉のもと、幼児から高齢者までの誰もが、生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、学校、家庭、地域などさまざまな場で、生涯にわたって学び活動することが可能な環境をつくり、文化の香り高いまちづくりを進めるために邁進します。

2) 社会教育中期計画目標

(1) 社会教育目標

- ・一人ひとりがあらゆる場で、生涯にわたって学び活動することができる環境をつくり、活力あるまちづくりを進めます。

(2) キャッチフレーズ

- ・みんなでつながる みんなで支える ～人々が輝くふるさとづくり～

3) 施策の基本目標

(1) 幼児教育・家庭教育

- ・豊かな感性を持ち健やかに成長するための環境づくりに努め、家庭や地域・保育所(園)・幼稚園・小学校が連携した幼児教育を推進します。
- また、子どもの心身のより良い発達の基盤となる家庭教育環境の充実を願い、教育機能を高めるための支援をします。

(2) 青少年育成

- ・学校・家庭・地域・関係諸機関が一体となって、地域の教育資源を積極的に活用した自然・生活体験をはじめとする多様な活動を進め、人間性豊かな青少年を育成します。

(3) 社会教育

- ・健康で心豊かな人生を送り、自らの意志で学ぶ生涯学習の一層の充実を図るため、町民一人ひとりの学習を大切に、地域の課題に取り組んでいくための多様な学習情報を提供するとともに学習機会の充実に努めます。

(4) 図書館

- ・町民の学習課題解決を支援するサービスや情報提供を行い、生涯学習の振興につながる「役に立つ図書館」としての事業推進に努めます。

(5) 芸術文化

- ・町民が心豊かな潤いのある人生を創造することができるよう、芸術・文化に親しめる機会を提供するとともに、貴重な文化財や歴史資料、郷土芸能の保存・継承に努めます。

(6) スポーツ

- ・町民一人ひとりが健康で生きがいある豊かな生活を営むことができるよう、「いつでも」「どこでも」「だれでも」スポーツに親しめる環境づくりを進めます。

(7) 地域間交流

- ・多様な分野での地域間交流を進め、次代を担う人材の育成を図ります。

(8) 大学連携

- ・道内大学や研究機関との連携協定の締結を推進し、社会人などに対する専門学習の機会を提供します。また、地域に活力をもたらす学生との交流活動を推進します。
さらに、大学などの持つ最先端の専門情報を地域課題の解決に活かすため、連携プロジェクトの構築を目指します。

(9) 自然環境

- ・関係諸機関・団体と連携しながら、町民参加型による自然環境の保全・再生、自然保護活動を推進するとともに、ふるさとの自然を活かした環境教育を推進します。

2 社会教育施設概要

1) 栗山町図書館

目 的	図書館法に基づき、図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料を収集、整理保存して町民の利用に供し、その教育文化の発展に寄与する。	
住 所	栗山町中央 3 丁目 309 番地	
設 置 年 月 日	昭和 63 年 6 月 1 日	
面 積・構 造 等	敷地面積 3,735 m ² 施設面積 1,066 m ² (鉄筋コンクリート平屋建) 移動図書館車(2013 年購入) 開架書庫・閲覧室・ラウンジコーナー、閉架書庫、研修室、視聴覚室	
建 設 事 業 費	337,218 千円 (国庫補助 37,200 千円 道補助 40,000 千円 寄付 8,350 千円)	
管 理 形 態	指定管理 特定非営利活動法人くりやま 図書館長(社会教育課長兼務)	
蔵 書 数	159,213 冊(一般 106,799 冊 児童 52,414 冊)	
開 館	10 時～18 時(木曜日のみ 10 時～20 時) 休館日 月曜日、祝日、年末年始	

2) 栗山町開拓記念館

目 的	明治 21 年開拓以来、町民あげて産業の発展、教育文化、社会福祉の向上等、積極的に町づくりを展開し、昭和 63 年開基百年を迎えた。不屈の開拓者精神を永く後世に伝え、さらに「心のふれあう豊かな文化都市」づくりの糧とする。	
住 所	栗山町角田 60 番地 4	
設置年月日	昭和 63 年 9 月 17 日	
面積・構造等	敷地面積 2,638.89 m ² 施設面積 716.045 m ² (鉄筋コンクリート造平屋建)	
建設事業費	262,280 千円 (道補助 50,000 千円 寄付 200 千円)	
管理形態	指定管理 株式会社日東総業	
展示・所蔵数	7,500 点	
入 館 料	高校・一般 100 円 小・中学生 50 円 (栗山町内の子ども小中学生 無料)	
開 館	10 時～16 時 休館日 月曜日、祝日の翌日 年末年始	

3) 泉記念館

目 的	開村功労者 泉 麟太郎翁の功績を讃え、その旧邸を記念館とし、歴史的資料の保存と町民の文化の向上に資する。	
住 所	栗山町角田 61 番地 4	
設置年月日	昭和 52 年 4 月 1 日	
面積・構造等	敷地面積 661.45 m² 施設面積 126.27 m² (藁葺寄棟造) 明治 31 年に建造されたもので、同時代に建築された沿岸地方の豪華な練網元民家様式と比べ、本州農家の趣があり、一部西側窓は西洋風で珍しい作りである。内部は一部改修され、昭和 50 年まで故泉勝文氏が生活していたが、昭和 51 年町史跡保存のため、家屋の寄贈を受け、開基 90 周年(昭和 53 年)事業として、この栗山発祥の現在地にそのまま修復。昭和 54 年より一般に公開されている。	
整備事業費等	5,900 千円	
管理形態	指定管理 株式会社日東総業	
入 館 料	高校・一般 100 円 小・中学生 50 円 (栗山町内の子ども小中学生 無料)	
開 館	10 時～16 時 休館日 月曜日、祝日の翌日、年末年始	

4) 栗山町農村環境改善センター

目 的	農村のコミュニティ活動を推進し、地域住民の文化を高めるとともに福祉と健康の増進を図る。	
住 所	栗山町角田 157 番地 1	
設置年月日	昭和 55 年 12 月 25 日	
面積・構造等	敷地面積 4,332.87 m ² 施設面積 1,557.438 m ² (鉄筋コンクリート造一部 2 階建)	
整備事業費等	343,070 千円	
管 理 形 態	指定管理 株式会社日東総業	
利 用 料 金 (1 時間)	多目的ホール:710 円、研修室A:290 円、 和室・調理実習室・研修室B 500 円	
開 館	9 時～22 時(日曜日 9 時～17 時) 休館日 月曜日、祝日の翌日、年末年始	

5) 栗山町カルチャープラザ

目 的	町民のコミュニティ活動の推進を図り、心のふれあいまちづくりに寄与する	
住 所	栗山町中央 2 丁目 1 番地	
設置年月日	平成 12 年 2 月 1 日	
面積・構造等	敷地面積 11,215.36 m ² 施設面積 3,054.66 m ² (鉄骨造 2 階建)	
整備事業費等	2,093,459 千円 (道補助 160,000 千円)	
管 理 形 態	指定管理者 株式会社日東総業	
利 用 料 金 (1 時間)	多目的ホール:4,450 円、練習室:200 円、研修室A:2,090 円、 研修室B:1,040 円、サークル室:300 円	
開 館	9 時～22 時 休館日 毎月第 1・第 3 月曜日、年末年始	

6) 栗山町南部公民館・栗山町南部地区町民センター

目 的	【南部公民館】 地域のコミュニティ活動を推進し、住民の生活文化を高めるとともに福祉と健康の増進を図る 【南部地区町民センター】 南部地区における町民の集会及び学習活動の推進	
住 所	栗山町字継立 176 番地 8	
設 置 年 月 日	昭和 61 年 2 月 23 日	
面 積 ・ 構 造 等	敷地面積 7,485.85 m² 施設面積 1,578.065 m² (鉄筋コンクリート造一部 2 階建)	
整備事業費等	342,030 千円	
管 理 形 態	指定管理 株式会社日東総業	
利 用 料 金 (1 時間)	多目的ホール:710 円、研修室:450 円、和室 B:290 円、 和室 A・調理実習室:500 円、集会室・学習室:500 円	
開 館	9 時～22 時(日曜日 9 時～17 時) 休館日 月曜日、年末年始	

7) 栗山町ふるさといきものの里オオムラサキ館

目 的	自然と人間の共生できる自然学習活動や町民のふれあい交流を深める	
住 所	栗山町桜丘 2 丁目 38 番地 5	
設 置 年 月 日	平成 3 年 10 月 22 日	
面 積 ・ 構 造 等	敷地面積 1,770 m² 施設面積 281.49 m² (鉄筋コンクリート造・一部 2 階建)	
整備事業費等	72,677 千円	
管 理 形 態	町直営	
利 用 料 金 (1 時 間)	無料 展示ホールの専用使用 750 円	
開 館	一般開放 10 時～17 時(4 月～3 月) 団体開放 17 時～22 時 休館日 火曜日、祝日の翌日、年末年始	

3 社会体育施設概要

1) 栗山町スポーツセンター

住 所	栗山町中央 3 丁目 310 番地	
設置年月日	昭和 55 年 10 月 31 日	
面積・構造等	敷地面積 11,440 m ² 施設面積 4,377 m ² (鉄筋コンクリート造一部 2 階建) アリーナ、剣道室、柔道室、トレーニングルーム、ランニングコース、幼児プレイルーム、研修室、指導員室、放送室、医務室	
整備事業費等	883,267 千円 (国庫補助 100,000 千円 道補助 30,000 千円 道基金 50,000 千円)	
管 理 形 態	指定管理 株式会社スイテック	
利 用 料 金	個人利用:小・中学生 50 円、高校生 70 円、一般 100 円	
開 館	9 時～21 時(日曜日のみ 9 時～17 時) 休館日 月曜日(4 月～10 月)、年末年始	

2) 栗山町総合グラウンド

住 所	栗山町字湯地 91 番地 18	
設置年月日	昭和 45 年 10 月 28 日	
面積・構造等	敷地面積 28,517 m ² 施設面積 20,688 m ² クレーグラウンド1周 400m	
整備事業費等	30,100 千円 (国庫補助 1,000 千円)	
管 理 形 態	指定管理 株式会社スイテック	
利 用 料 金	個人利用:小・中学生 50 円、高校生 70 円、一般 100 円	
開 館	4 月 29 日～11 月 3 日 5 時～19 時	

3) 栗山町栗夢広場

住 所	栗山町中央 3 丁目 309 番地	
設置年月日	昭和 54 年 4 月 1 日	
面積・構造等	敷地面積 11,900 m ² 施設面積 11,449 m ² (多目的クレーグラウンド)	
整備事業費等	—	
管 理 形 態	指定管理 株式会社スイテック	
主な利用状況	サッカー、野球	
利 用 料 金	専用使用(1 時間):小・中学生 100 円、高校生・一般 200 円	
開 館	4 月 29 日～11 月 3 日 5 時～19 時	

4) 栗山町栗山運動公園

住 所	栗山町松風 4 丁目 22 番地	
設置年月日	昭和 47 年 9 月 21 日	
面積・構造等	敷地面積 13,178 m ² 施設面積 12,760 m ² (多目的芝生グラウンド)	
整備事業費等	40,950 千円 (国庫補助金 26,250 千円)	
管 理 形 態	指定管理 株式会社スイテック	
主な利用状況	ソフトボール、ゲートボール等	
利 用 料 金	専用使用(1 時間):小・中学生 200 円、高校生・一般 410 円	
開 館	4 月 29 日～11 月 3 日 5 時～19 時	

5) 栗山町ふじスポーツ広場

住 所	栗山町字富士 23 番地 5	
設置年月日	平成 7 年 7 月 14 日	
面積・構造等	敷地面積 40,429 m ² 施設面積 17,400 m ² (多目的グラウンド、サッカーコート 2 面)	
整備事業費等	362,996 千円	
管 理 形 態	指定管理 株式会社スイテック	
主な利用状況	サッカー、レクリエーション等	
利 用 料 金	専用使用:小・中学生 1,400 円、高校生・一般 2,780 円	
開 館	4 月 29 日～11 月 3 日 9 時～21 時	

6) 栗山町ふじ交流センター

住 所	栗山町字富士 23 番地 5	
設置年月日	平成 13 年 9 月 28 日	
面積・構造等	敷地面積 360.2 m ² 施設面積 320.47 m ² (木造平屋建) 研修室、ロッカールーム、シャワールーム、医務室	
整備事業費等	75,150 千円(国補助 37,298 千円)	
管 理 形 態	指定管理 株式会社スイテック	
主な利用状況	スポーツ研修、地域交流、ふじスポーツ広場の付帯設備	
利 用 料 金	専用使用(1 時間):研修室 A700 円、付帯設備 360 円	
開 館	4 月 29 日～11 月 3 日 9 時～21 時	

7) 栗山町民球場

住 所	栗山町字富士 200 番地	
設置年月日	平成 10 年 6 月 21 日	
面積・構造等	敷地面積 35,760 m ² 施設面積 13,657 m ² 両翼 98m センター 120m 観客席 メインスタンド 1,000 人、内 外野芝生席 2,300 人（硬式・軟式 用野球場）	
整備事業費等	1,208,744 千円(国補助 39,176 千円 道補助 50,000 千円)	
管 理 形 態	指定管理 株式会社スイテック	
主な利用状況	野球、ソフトボール	
利 用 料 金	専用使用(1 時間):小・中学生 1,400 円、高校生・一般 2,780 円	
開 館	4 月 29 日～11 月 3 日 9 時～21 時	

8) 栗山町栗山公園球場

住 所	栗山町桜丘 2 丁目 38 番地 16	
設置年月日	昭和 54 年 9 月 8 日	
面積・構造等	敷地面積 13,100 m ² 施設面積 9,000 m ² (軟式用野球場)	
整備事業費等	41,121 千円(国補助 18,000 千円)	
管 理 形 態	指定管理 株式会社スイテック	
主な利用状況	野球	
利 用 料 金	専用使用(1 時間):小・中学生 700 円、高校生・一般:1,390 円	
開 館	4 月 29 日～11 月 3 日 5 時～19 時	

9) 栗山町栗山公園弓道場

住 所	栗山町桜丘 2 丁目 38 番地 16	
設置年月日	昭和 61 年 10 月 31 日	
面積・構造等	敷地面積 616 m ² 施設面積 122 m ² (鉄骨造平屋建、5人立)	
整備事業費等	15,900 千円 (道補助金 5,000 千円)	
管 理 形 態	指定管理 株式会社スイテック	
利 用 料 金	個人使用 : 小・中学生 50 円、高校生 70 円、一般 100 円	
開 館	休館日 年末年始 9 時～21 時	

10) 栗山町栗山公園テニスコート

住 所	栗山町桜丘 2 丁目 38 番地 16	
設置年月日	昭和 51 年 10 月 9 日	
面積・構造等	敷地面積 1,750 m ² クレーコート 2 面	
整備事業費等	5,980 千円	
管 理 形 態	町直営委託	
利 用 料 金	専用使用(1 面・1 時間): 小・中学生 50 円、高校生・一般 100 円	
開 館	4 月 29 日～11 月 3 日 5 時～19 時	

11) 栗山町農村環境改善センターテニスコート

住 所	栗山町角田 155 番地 1	
設置年月日	昭和 55 年 12 月 25 日	
面積・構造等	敷地面積 1,245 m ² 全天候型コート 2 面	
整備事業費等	農村環境改善センター建設事業費に 含む	
管 理 形 態	指定管理 株式会社日東総業	
利 用 料 金	専用使用(1 時間): 小・中学生 50 円、高校生・一般 100 円	
開 館	4 月 29 日～11 月 3 日 9 時～19 時	

12) 栗山町栗山水泳プール

住 所	栗山町中央 3 丁目 311 番地 6	
設置年月日	昭和 59 年 12 月 4 日	
面積・構造等	敷地面積 2,141 m ² 施設面積 1,499 m ² (FRR 製ピット構造、砂ろ過式) 一般プール 25m×10 コース 幼児プール 2 個所	
整備事業費等	127,900 千円	
管 理 形 態	指定管理 株式会社スイテック	
利 用 料 金	個人利用:小・中学生 50 円、高校生 70 円、一般 100 円	
開 館	6 月 15 日～9 月 15 日 10 時～20 時	

13) 栗山町角田水泳プール

住 所	栗山町角田 17 番地 13	
設置年月日	平成 3 年 1 月 31 日	
面積・構造等	敷地面積 1,928 m ² 施設面積 787 m ² (FRR 製ピット構造、砂ろ過式) 一般プール 25m×5 コース 幼児プール 2 個所	
整備事業費等	111,652 千円 (国庫補助金 60,000 千円)	
管 理 形 態	指定管理 株式会社スイテック	
利 用 料 金	個人利用:小・中学生 50 円、高校生 70 円、一般 100 円	
開 館	6 月 15 日～9 月 15 日 10 時～18 時	

14) 栗山町継立水泳プール

住 所	栗山町字継立 191 番地	
設置年月日	昭和 63 年 11 月 4 日	
面積・構造等	敷地面積 1,058 m ² 施設面積 775.85 m ² (FRR 製ピット構造、砂ろ過式) 一般プール 25m×5 コース 幼児プール 2 個所	
整備事業費等	9,460 千円	
管 理 形 態	指定管理 株式会社スイテック	
利 用 料 金	個人利用:小・中学生 50 円、高校生 70 円、一般 100 円	
開 館	6 月 15 日～9 月 15 日 10 時～18 時	

15) 栗山町栗山ダムパークゴルフコース

住 所	栗山町字本沢 1 番地 1	
設置年月日	平成 7 年 7 月 21 日	
面積・構造等	敷地面積 33,400 m ² 施設面積 26,400 m ² 管理棟、36 ホール(パー132)1,900m 4 コース	
整備事業費等	116,201 千円 (道補助金 40,000 千円)	
管 理 形 態	指定管理 クリーンセンター株式会社	
利 用 料 金	個人利用:小・中学生 100 円(町外 200 円)、高校生・一般 310 円(町外 520 円)	
開 館	4 月 29 日～11 月 3 日 8 時 30 分～18 時	

16) 栗山町御園パークゴルフコース

住 所	栗山町字御園 86 番地 2	
設置年月日	平成 10 年 7 月 17 日	
面積・構造等	敷地面積 17,715 m ² 施設面積 15,250 m ² 管理棟 18 ホール(パー66)846m 2 コース	
整備事業費等	75,122 千円	
管 理 形 態	町直営	
利 用 料 金	無料	
開 館	4 月 29 日～11 月 3 日 9 時～18 時	

4 その他の教育関連施設概要

1) 雨煙別学校 コカ・コーラ環境ハウス



平成 10 年 3 月に閉校した雨煙別小学校は、昭和 11 年に建築された木造 2 階建校舎で、同様の校舎は道内に雨煙別小学校を含む 2 校のみで貴重な歴史的建造物となっていました。

町としても、廃校後も風雪に耐えてきたこの校舎を保存、活用できないかと検討を重ねてきましたが、建物の改修に多大な費用を要することなどから実現に至りませんでした。

平成 20 年に「財団法人コカ・コーラ教育・環境財団」が廃校舎に着目し、栗山町の長年にわたる自然環境保護と環境教育の取組を評価して支援が決められました。また、この支援に合わせて町内の有志が「特定非営利活動法人 雨煙別学校」を設立しました。

校舎の改修作業は、述べ 1,500 名の町民がボランティアで作業(壁の塗装、タイル貼り、ベット作成等)に協力し、平成 21 年 4 月に工事が完了しました。環境教育を行う宿泊可能な体験施設として生まれ変わり、同年 8 月から毎年「コカ・コーラ環境フォーラム」が開催され、全国各地の実践者や団体が集まる交流拠点となっています。

住 所	栗山町字雨煙別1番地4
開 設 年 月 日	平成 21 年 5 月 29 日(グランドオープン 平成 22 年 4 月 1 日)
面 積・構 造 等	敷地面積 8,604 m ² 施設面積 909.72 m ² 作業室、食堂、旧音楽室、宿泊兼研修室、宿泊室(5 部屋)、保健室
校舎改修費用	180,000 千円(財団法人コカ・コーラ教育・環境財団)
管 理 形 態	特定非営利活動法人 雨煙別学校
利 用 料 金 (税別)	施設利用(1 時間):体育館・グラウンド 1,000 円、その他 800 円から 宿泊:幼児 1,400 円、小学生 3,000 円、中学生以上 3,300 円 食事:朝食 700 円から、昼食 800 円から、夕食 1,100 円から ※栗山町の小中学生の団体利用は無料
開 館	受付:9 時～18 時 施設利用:9 時～21 時(事前予約による宿泊を除く) 休館日:火曜日(事前予約による宿泊・施設利用は除く)、年末年始
自然体験教育 プログラム (有料)	夕張川Eボート体験、川流れ体験、夕張川の生き物しらべ、ハサンベツ里山 づくり、里山ネイチャーハイク、山菜・きのこをたしなむ観察会、窯から作るピザ づくり、落ち葉で焼き芋、野外炊飯、ダッチオープンクッキング 他多数

5 施設利用状況

1) 社会教育施設

(単位：冊・人)

年度	栗山町図書館		
	貸出冊数	利用者数	蔵書数
H27	103,654	42,082	156,984
H28	101,445	46,813	157,966
H29	95,736	41,563	157,805
H30	88,056	52,268	158,418
R1	84,726	35,136	159,029
R2	76,887	27,392	160,095
R3	79,813	26,352	158,987
R4	78,375	28,233	159,901
R5	76,229	28,796	159,213
R6	73,514	24,780	160,251

年度	栗山町開拓記念館	泉記念館	栗山町農村環境改善センター	栗山町カルチャープラザ	栗山町南部公民館	栗山町ふれあいプラザ	栗山町ファーマーブルの森観飼育舎	栗山町ふるさといきものの里オオムラサキ館
H27	1,569	1,328	15,851	39,204	17,231	8,829	3,835	12,664
H28	1,788	1,416	18,017	40,422	18,556	7,136	4,062	10,665
H29	1,601	1,349	18,103	39,643	18,373	4,861	3,519	8,923
H30	1,438	980	14,829	52,245	16,179	3,125	1,844	16,372
R1	1,553	849	15,314	53,304	17,046	-	-	22,719
R2	902	718	5,863	14,813	7,738	-	-	21,223
R3	1,072	927	8,356	22,405	9,890	-	-	22,725
R4	1,509	1,282	9,527	27,694	10,676	-	-	29,482
R5	2,043	1,660	11,527	31,573	12,251	-	-	28,492
R6	2,390	2,069	8,779	29,883	8,306	-	-	29,643

2) 社会体育施設

(単位：人)

年度	栗山町スポーツセンター	栗山町総合グラウンド	栗山町栗夢広場	栗山町運動公園	栗山町ふじスポーツ広場	栗山町ふじ交流センター	栗山町町民球場	栗山町公園球場	栗山町栗山公園弓道場
H27	73,347	13,922	10,078	1,730	10,385	4,770	10,130	4,769	3,995
H28	76,892	12,042	8,468	2,015	8,887	4,502	11,272	4,551	3,885
H29	77,725	7,031	7,604	3,098	9,720	1,339	14,372	5,492	3,775
H30	73,812	9,692	8,475	1,864	9,682	3,524	13,928	5,875	2,993
R1	71,255	13,152	7,100	2,088	11,059	6,305	14,259	5,419	1,639
R2	47,645	9,752	3,480	1,025	10,269	1,100	6,405	4,179	1,544
R3	47,673	9,426	5,784	1,261	5,396	360	6,104	3,512	1,781
R4	59,804	10,611	8,319	1,800	9,318	1,869	7,243	5,564	2,426
R5	67,490	9,847	9,534	1,944	13,132	3,043	9,590	5,972	1,931
R6	68,852	8,594	9,781	1,655	12,798	4,478	12,446	5,070	1,020

年度	栗山町栗山公園テニスコート	栗山町農村環境改善センターテニスコート	栗山町栗山水泳プール	栗山町角田水泳プール	栗山町継立水泳プール	栗山町栗山ダムパークゴルフ場	栗山町御園パークゴルフ場	栗山町スキー場
H27	1,862	590	4,549	1,090	1,231	18,989	3,651	32,377
H28	1,594	293	5,111	1,136	1,084	15,503	3,404	44,096
H29	1,918	167	4,713	1,479	1,083	15,037	3,057	27,639
H30	1,419	157	3,491	1,001	898	14,149	2,044	-
R1	1,745	204	4,323	1,503	881	12,261	1,921	-
R2	1,077	200	3,253	1,262	456	9,051	1,650	-
R3	1,145	218	4,309	1,426	860	8,155	2,028	-
R4	1,310	223	3,259	1,145	537	9,790	2,442	-
R5	1,120	137	3,220	1,101	663	9,329	2,329	-
R6	1,214	108	3,877	1,260	652	7,685	1,784	-

3) その他の教育関連施設

(単位：人)

年度	雨煙別学校 コカ・ コーラ環境ハウス
H27	16,565
H28	16,651
H29	18,475
H30	19,933
R1	20,644
R2	10,141
R3	13,933
R4	15,988
R5	19,185
R6	18,819

6 栗山町の文化財

国は、文化財保護法により、「我国にとって歴史上又は学術上(芸術上、鑑賞上)価値の高いもの」を文化財とし、そのうち重要なものを「国指定文化財」として保護しています。築後 50 年を経過している建造物で、歴史的景観に寄与していたり、デザインが優れていたりするものを、所有者の希望に基づいて、国(文化庁)が登録できる文化財登録制度が 1996 年創設され、栗山町の小林酒造(株)建物群が国の登録有形文化財に登録されました。

また、栗山町は、栗山町文化財保護条例(平成 16 年 4 月 1 日施行)により、「町にとって歴史上又は学術上(芸術上、鑑賞上) 価値の高いもの」のうち、「町にとって特に重要と認めるもの」を「町指定文化財」として保護しています。

1) 栗山町現有の指定文化財内訳

(単位：件)

指定 区分	有形文化財						民俗文化財		合 計
	建 造 物	美術工芸品					有 形 民 俗 文 化 財	無 形 民 俗 文 化 財	
		古 文 書	歴 史 資 料	考 古 資 料	書 跡	彫 刻			
国登録	13	-	-	-	-	-	-	-	13
町指定	1	1	5	1	2	1	1	2	14
合 計	14	1	5	1	2	1	1	2	27

※令和 7 年 4 月 1 日現在

2) 栗山町の文化財一覧

区分	分類	種別	名称	指定年月日	所在地
国登録	登録有形文化財	建造物	小林酒造旧事務所 (蔵元北の錦記念館)	H18.10.18	錦3
国登録	登録有形文化財	建造物	小林酒造旧ビール庫・缶詰資材庫 (大正・昭和の暮らし)	H18.10.18	錦3
国登録	登録有形文化財	建造物	小林家住宅	H18.10.18	錦3
国登録	登録有形文化財	建造物	小林酒造一番蔵	H18.10.18	錦3
国登録	登録有形文化財	建造物	小林酒造二番蔵	H18.10.18	錦3
国登録	登録有形文化財	建造物	小林酒造三番蔵	H18.10.18	錦3
国登録	登録有形文化財	建造物	小林酒造四番蔵	H18.10.18	錦3
国登録	登録有形文化財	建造物	小林酒造五番蔵	H18.10.18	錦3
国登録	登録有形文化財	建造物	小林酒造六番蔵	H18.10.18	錦3
国登録	登録有形文化財	建造物	小林酒造製麹室	H18.10.18	錦3
国登録	登録有形文化財	建造物	小林酒造蒸米場	H18.10.18	錦3
国登録	登録有形文化財	建造物	小林酒造旧精米場 (酒の郷なつかしホール)	H18.10.18	錦3
国登録	登録有形文化財	建造物	小林酒造旧資材庫 (昔の酒道具展示館)	H18.10.18	錦3
町指定	有形文化財	建造物	泉記念館	H18. 5. 9	角田
町指定	有形文化財	古文書	泉家文書	H18. 5. 9	角田
町指定	有形文化財	歴史資料	泉 麟太郎君 記念碑	H18. 5. 9	角田
町指定	民俗文化財	無形民俗文	栗山親子獅子舞	H20. 2.15	桜丘2
町指定	民俗文化財	有形民俗文	栗山親子獅子舞用具 (創設当時の用具)	H20. 2.15	桜丘2
町指定	民俗文化財	無形民俗文	角田獅子舞	H20. 2.15	角田
町指定	有形文化財	彫刻	「千瓢彫」本田数馬翁の遺作 木彫の鮭	H20.11.26	松風3
町指定	有形文化財	考古資料	続縄文時代 鳩山2遺跡「深鉢形土器」	H21.10.13	角田
町指定	有形文化財	書跡	高木兼寛の書(掛軸)	H25. 5.13	角田
町指定	有形文化財	書跡	乃木希典の書(掛軸)	H25. 5.13	角田
町指定	有形文化財	歴史資料	角田村道路元標	R5.1.26	角田
町指定	有形文化財	歴史資料	角田神社奉納額(絵馬)	R5.1.26	角田
町指定	有形文化財	史跡	水難溺死者供養之碑	R7.1.29	角田
町指定	有形文化財	美術工芸	雪薄紋蒔絵長持	R7.1.29	角田

V 北海道介護福祉学校

1 学校の概要



所在地	栗山町字湯地 60				
校長	校長 恵七 尚広				
職員数	専任教員 5 名 非常勤講師 19 名 事務職員 3 名				
生徒数	1 年 23 名 2 年 22 名				
学級数	2 学級				
設立年月	昭和 63 年 4 月				
学 科	介護福祉学科	定 員	80 名	修業年限	2 年
修得資格	介護福祉士・レクリエーションインストラクター				
教育目標	1. 人間を理解する豊かな感性 2. 介護・社会福祉の知識と技術 3. 共に生きる福祉社会の創造				
学習内容	介護福祉は、人が人間としての誇りや尊厳を保って生きていけるように、その人の生活を支えることです。仕事を通じて、命の尊さ、人間の素晴らしさを知り、多くの人々との出会いの中から、自分自身が成長できる仕事です。専門職業人として大切な仕事をするために、一般教育科目・専門科目・実習等を学び体験し、多くの専門的知識や技術を身につけます。				

2 学校の特徴

1) 日本で最初に設立された介護福祉士養成校

昭和 63 年、全国に 25 校の介護福祉士養成校が初めて設置され、本校はその中の 1 校です。以来、37 年のあゆみを続けています。

2) 介護福祉士養成では北海道唯一の公立校

介護福祉士養成校として、北海道で唯一の公立(栗山町立)校です。そのため、学費は可能な限り低く設定し、より多くの人たちに学ぶ機会を提供しています。公立校として社会からの信頼も厚く 36 年にわたる実績とともに、高い評価を確立しています。

3) 開校以来、36 期連続で就職率 100%

超高齢化時代の到来により、介護福祉士の必要性がますます高まる中、毎年、学生数を大きく上回る求人が寄せられます。就職率は、開校以来 100%を継続しており、高齢者施設や障がい者施設など活躍の場も広がっています。就職支援では、一人ひとりの希望や適性に沿ったきめ細かな指導により夢の実現をサポートしています。また、近年は大学進学(編入)を希望する学生も増え、高校と大学のハブとしての役割を果たしています。卒業生数は 2,327 名(令和 7 年 3 月まで)を数え、道内各地で活躍しています。

4) 社会から求められる「優れた介護人材」を育成

近年、急激な少子化や介護職離れにより、入学者数の減少が顕著となっていますが、超高齢社会を迎えた日本において、介護を支える人材は財産です。介護のスペシャリストである介護福祉士の養成のため、独自科目「地域活動研究」「キャリア形成支援講座」をはじめとする栗山ならではの特色あるカリキュラムにより幅広い視野と思考力を備えた人材を育てています。また、「地域を支える介護人材は“地域と栗山”で育てる」をテーマに、介護人材の確保に苦慮する道内の自治体と介護人材確保に関する包括連携協定を締結し、地域を担う介護人材の養成に努めています。

5) 介護のすそ野を広げ地域に信頼される学校づくり

町立校として、年間 10 数回にわたる地域公開講座の開催をはじめ、町内小中学校の介護・福祉教育に協力するなど介護のすそ野を広げる取組みをしています。また、令和 5 年度からは栗山高校と連携し、文部科学省より「福祉・介護分野における中核的人材養成に向けた高専一貫教育プログラム開発・実証事業」を受託し、少子高齢・人口減少社会において活躍できる介護の知識を有した人材の養成に取り組んでいます。

3 施設の概要

	工 期	構造	建築費
校 舎	S63 年 7 月～H元年1月	鉄筋コンクリート造 2 階建 1,995.15 m ²	3 億 7,200 万円
講 堂	H8 年 7 月～12 月	鉄骨造平屋建 695.08 m ²	2 億 253 万円
学生寮 (朝日 4)	H2 年 10 月～H3 年 3 月	鉄筋コンクリート造 3 階建 759.37 m ² 32 部屋	1 億 5,776 万円

4 生徒数の推移と就職状況

(単位：人)

年度 (期別)	入学者数			就職状況					
	男	女	計	高齢者 介護施 設等	障害者 福祉施 設等	医療機 関等	行政・ 社協等	その他	合計
昭和63年度(1)	75	35	110	64	9	11	5	15	104
平成 元年度(2)	44	46	90	49	9	9	6	3	76
平成2年度(3)	41	48	89	74	2	2	5	1	84
平成3年度(4)	34	56	90	66	4	6	4	1	81
平成4年度(5)	30	58	88	68	5	6	5	-	84
平成5年度(6)	18	74	92	61	16	6	3	3	89
平成6年度(7)	19	73	92	68	7	8	5	3	91
平成7年度(8)	16	76	92	67	5	5	6	6	89
平成8年度(9)	12	80	92	60	10	2	10	8	90
平成 9年度(10)	10	82	92	63	9	6	3	10	91
平成10年度(11)	8	83	91	67	6	8	-	2	83
平成11年度(12)	12	78	90	77	3	3	-	5	88
平成12年度(13)	12	73	85	71	3	4	-	3	81
平成13年度(14)	15	66	81	66	7	5	-	2	80
平成14年度(15)	21	63	84	63	6	5	-	4	78
平成15年度(16)	23	61	84	68	4	2	-	3	77
平成16年度(17)	36	49	85	55	3	13	-	2	73
平成17年度(18)	36	51	87	70	2	3	-	3	78
平成18年度(19)	35	41	76	51	1	3	-	3	58
平成19年度(20)	30	48	78	54	8	1	-	3	66
平成20年度(21)	31	38	69	53	10	4	-	1	68
平成21年度(22)	31	38	69	44	8	2	-	8	62
平成22年度(23)	28	55	83	50	16	1	-	9	76
平成23年度(24)	32	49	81	58	13	3	-	2	76
平成24年度(25)	25	31	56	40	13	-	-	1	54
平成25年度(26)	41	38	79	53	11	2	-	4	70
平成26年度(27)	22	32	54	30	11	2	-	3	46
平成27年度(28)	15	24	39	24	5	1	-	-	30
平成28年度(29)	19	23	42	33	1			3	37
平成29年度(30)	22	19	41	28	3				31
平成30年度(31)	16	20	36	26	3	2			31
令和元年度(32)	8	12	20	25	3	-	-	5	33
令和2年度(33)	6	12	18	14	-	-	-	2	16
令和3年度(34)	12	15	27	15	1	-	-	2	18
令和4年度(35)	8	17	25	18	3	-	-	4	25
令和5年度(36)	5	16	21	17	3	-	-	3	23
令和6年度(37)	8	15	23	16	1	-	-	1	18
合 計	856	1,695	2,551	1,826	224	125	52	128	2,355

VI 公益信託松原記念奨学基金

1 奨学基金積立金の推移

昭和 36 年 1 月に松原産業株式会社社長の松原賦吉氏の篤志により、優秀な素質をもちながら経済的な理由により進学できない中学生・高校生に奨学金を給与・貸与するため奨学基金が造成されました。その資金として、昭和 36 年度から毎年私財 100 万円を寄付し、10 年間で 1 千万円の基金を造成するとしました。

篤志を受けた町は、この資金を有効に運用するため、町議会、町教育委員会、PTA、商工会議所など各団体による「松原育英会」(会長＝町長)を設立しました。

昭和 58 年 4 月に東洋信託銀行株式会社(現三菱UFJ信託銀行)を受託者として、奨学資金を公益信託し管理・運用を始め、「公益松原記念奨学基金」と名称を改めました。

平成 18 年度から専修学校生、また、平成 25 年度から大学院生を奨学生として認めることとし、貸与規約の改正を行いました。

平成 26 年度には社会の情勢等を考慮し貸与型の支給を停止、貸与規程の一部を改正し大学生等の奨学金を返済が不要な給付型としました。

(単位：千円)

年度	金額
昭和36年度	2,000
昭和37年度	1,000
昭和38年度	1,000
昭和39年度	1,000
昭和40年度	1,000
昭和41年度	1,000
昭和42年度	1,000
昭和43年度	1,000
昭和44年度	1,000
昭和47年度	3,000
昭和48年度	5,000
昭和53年度	5,000
昭和55年度	3,000
昭和63年度	10,000
平成2年度	5,000
平成5年度	3,000
合計	44,000

※松原産業株式会社から寄付による

2 給・貸与奨学金額の経緯

貸与型奨学金は、貸与奨学金の返済負担の増加が社会問題化する背景を踏まえて、平成 26 年度に制度全体の見直しを行い、給付型奨学金への一本化しました。

(単位：円)

年度	高校生 (給与)	大学生 (貸与)
昭和36年度	1,000	5,000
昭和37年度変更	1,000	7,000
昭和44年度変更	1,500	7,000
昭和47年度変更	1,500	10,000
昭和49年度変更	2,000	15,000
昭和50年度変更	2,000	20,000
昭和52年度変更	3,000	20,000
昭和55年度変更	4,000	20,000
昭和58年度変更	5,000	20,000
昭和59年度変更	6,000	20,000
昭和63年度変更	8,500	23,000
平成18年度変更	8,500	50,000
平成26年度変更	-	給付30,000

3 募集条件

(ア) 栗山町の住民若しくは北海道栗山高等学校出身者又は運営委員会において認めた者であること。

(イ) 次の学校の生徒又は学生であること。

・高等専門学校(4・5年生)、大学、大学院及び専修学校。

(ウ) 経済的理由により就学困難な事情があること。

(エ) 向学心に富み、かつ、成業の見込みのあること。

4 奨学基金決算状況(平成10年度～)

(単位：円)

年度	収入	支出	基金残高	給・貸与奨学生	
				高校生	大学生
平成10	1,785,296	2,029,800	47,867,145	612,000 (6人)	1,104,000 (4人)
平成11	1,474,059	1,471,304	47,869,900	612,000 (6人)	552,000 (2人)
平成12	1,700,516	849,807	48,720,609	- -	552,000 (2人)
平成13	848,587	576,591	48,992,605	- -	276,000 (1人)
平成14	1,464,980	1,134,244	49,323,341	- -	828,000 (3人)
平成15	654,138	1,133,272	48,844,207	- -	828,000 (3人)
平成16	982,022	574,776	49,251,453	- -	276,000 (1人)
平成17	1,122,561	855,914	49,518,100	- -	552,000 (2人)
平成18	841,462	1,499,158	48,860,404	- -	1,200,000 (2人)
平成19	541,520	897,030	48,504,894	- -	600,000 (1人)
平成20	1,101,266	1,497,055	48,109,105	- -	1,200,000 (2人)
平成21	1,213,039	2,099,167	47,222,977	- -	1,800,000 (3人)
平成22	981,135	2,692,292	45,511,820	- -	2,400,000 (4人)
平成23	977,549	2,081,444	44,407,925	- -	1,800,000 (3人)
平成24	2,106,981	3,282,616	43,232,290	- -	3,000,000 (5人)
平成25	1,944,863	5,683,144	39,494,009	- -	5,400,000 (9人)
平成26	2,325,521	3,153,749	38,665,781	- -	2,880,000 (8人)
平成27	2,258,400	3,130,990	37,793,191	- -	2,880,000 (8人)
平成28	1,784,628	3,152,682	36,425,137	- -	2,880,000 (8人)
平成29	1,170,338	3,142,228	34,453,247	- -	2,880,000 (8人)
平成30	1,827,121	3,134,395	33,145,973	- -	2,880,000 (8人)
令和元	1,515,886	2,761,746	31,900,113	- -	2,520,000 (7人)
令和2	1,879,884	3,122,694	30,657,303	- -	2,880,000 (8人)
令和3	401,885	3,110,138	27,949,050	- -	2,880,000 (8人)
令和4	362,004	3,098,161	25,212,893	- -	2,880,000 (8人)
令和5	449,127	2,903,558	22,758,462	- -	2,700,000 (8人)
令和6	13,717	3,065,654	19,706,525	- -	2,880,000 (8人)

5 基金運営委員

(令和7年4月1日現在)

氏 名	役職等	任 期
松 原 由 典	松原産業株式会社代表取締役	R7.4.1～R9.3.31
橋 場 謙 吾	栗山町副町長	R7.4.1～R9.3.31
堀 文 彦	栗山町議会総務教育常任委員長	R7.4.1～R9.3.31
谷 内 篤 史	栗山町PTA連合会会長	R7.4.1～R9.3.31
檜 崎 忠 彦	栗山町社会福祉協議会会長	R7.4.1～R9.3.31
得 地 康 則	栗山町民生委員・児童委員協議会副会長	R7.4.1～R9.3.31
井 上 博 幸	栗山町教育委員会教育長職務代理者	R7.4.1～R9.3.31

資料

児童生徒表彰(輝け栗っ子賞)

1 目的

健全な心身の発達を促進させる事を目的として、児童生徒の優れた個性や行動を表彰している。
義務教育期間内に1度だけ※受賞する機会があり、次のとおり部門を設定している。

- ・ 努力賞:学校や社会生活において努力の跡が著しい児童生徒
- ・ 奉仕賞:社会又は個人に奉仕している児童生徒
- ・ 親切賞:人に親切な行いをしている児童生徒
- ・ 体育賞:スポーツに優れている児童生徒
- ・ 学芸賞:学芸に優れている児童生徒
- ・ 特別賞:既に受賞済みであるが、特に顕著な実績を残した児童生徒

※平成27年度から、小学校・中学校でそれぞれ1度受賞できるように変更

2 実績

(単位:人)

年度	努力賞	奉仕賞	親切賞	体育賞	学芸賞	特別賞	合計
平成12	1	13	0	31	10	0	55
平成13	0	3	0	22	20	1	46
平成14	12	9	1	29	10	0	61
平成15	7	11	0	9	9	0	36
平成16	3	10	0	20	6	0	39
平成17	5	9	0	33	9	0	56
平成18	1	8	2	19	20	0	50
平成19	0	15	0	43	12	0	70
平成20	0	18	0	25	12	0	55
平成21	0	30	0	19	7	0	56
平成22	0	9	1	60	11	0	81
平成23	2	12	0	20	2	0	36
平成24	1	2	0	28	2	0	33
平成25	0	0	0	23	31	0	54
平成26	0	0	0	62	8	0	70
平成27	3	0	0	32	8	0	43
平成28	0	0	0	51	4	0	55
平成29	0	0	0	40	9	0	49
平成30	0	0	0	22	6	0	28
令和元	2	9	0	21	8	0	40
令和2	0	1	0	16	10	0	27
令和3	0	0	0	46	15	0	61
令和4	0	0	0	52	20	0	72
令和5	0	0	0	56	15	0	71
令和6	0	0	1	49	7	0	57
計	37	159	5	828	271	1	1,301

子ども夢づくり基金

1 目的

2002 年ワールドカップ誘致運動の寄付金約 4,500 万円の活用について、町議会やW杯サッカー栗山合宿実行委員会のご意見をいただき、次代を担う子どもたちのスポーツや文化活動を支援する事を目的として創設。

交付にあたっては「栗山町子ども夢づくり基金運営委員会」を設置し、委員会で決定された個人に対して補助金の交付を行っている。

2 交付基準

補助金の対象となる事業は、スポーツ及び文化活動に係る、全道規模以上の公式大会出場又は全道規模以上の範囲で召集される研修派遣への支援としている。ただし、一人あたり同一競技・部門で1回までとしている。

3 実績

(単位：円)

年度	収入	支出	基金残高	支出内訳		
				団体・個人	机・椅子	
当初	0	0	45,222,367	0	(0件)	0
平成15	329,920	2,540,000	43,012,287	2,540,000	(6件)	0
平成16	62,315	538,000	42,536,602	538,000	(3件)	0
平成17	1,043,755	1,456,000	42,124,357	1,456,000	(8件)	0
平成18	92,903	1,593,000	40,624,260	1,593,000	(8件)	0
平成19	722,542	1,169,000	40,177,802	1,169,000	(8件)	0
平成20	507,365	1,796,000	38,889,167	1,796,000	(10件)	0
平成21	643,027	10,747,985	28,784,209	1,670,000	(10件)	9,077,985
平成22	197,987	1,619,000	27,363,196	1,619,000	(11件)	0
平成23	1,166,582	5,509,600	23,020,178	1,276,000	(11件)	4,233,600
平成24	1,071,361	1,462,000	22,629,539	1,462,000	(11件)	0
平成25	53,047	1,234,000	21,448,586	1,234,000	(10件)	0
平成26	50,094	1,626,000	19,872,680	1,626,000	(8件)	0
平成27	51,664	1,988,000	17,936,344	1,988,000	(11件)	0
平成28	42,283	1,308,000	16,670,627	1,308,000	(9件)	0
平成29	31,314	1,596,000	15,105,941	1,596,000	(9件)	0
平成30	20,900	1,145,000	13,981,841	1,145,000	(14件)	0
令和元	12,638	919,000	13,075,479	919,000	(10件)	0
令和2	1,510,193	281,000	14,304,672	281,000	(3件)	0
令和3	4,572	1,290,000	13,019,244	1,290,000	(3件)	0
令和4	3,894	2,152,000	10,871,138	2,152,000	(11件)	0
令和5	3,825	1,294,000	9,580,963	1,294,000	(6件)	0
令和6	1,004,790	1,741,000	8,844,753	1,741,000	(25件)	0
計	8,626,971	45,004,585	-	31,693,000	(205件)	13,311,585

※ 平成21年度及び23年度に、町内児童生徒全体に基金の恩恵が受けられるよう、基金の一部を活用し机・椅子を購入。

中学生 卒業後の進路

(単位：人)

学校名	学科	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
岩見沢東	普通	14	7	12	11	11
	文理探究					2
岩見沢西	普通	12	8	2		
岩見沢緑陵	普通	11	3	12	5	15
	情コミ	7	3	4	7	1
	スポーツ	3				
岩見沢農業	農業科学		2	5		
	森林科学				1	
	農業土木工学			1	2	2
	生活科学		1	1		
	畜産科学		1			
	食品科学	1	1	2	4	1
栗山	普通	28	21	28	22	22
三笠	食物調理	1				
美唄聖華	衛生看護		1			
美唄尚栄	総合			1		
札幌南	普通	1	1			
札幌東	普通			1		
札幌西	普通	1				
札幌国際情報	グローバルビジネス			1		
	国際文化			1		
江別	生活デザイン			1	1	
大麻	普通			1		
市立札幌清田	普通					1
札幌啓成	理数	1		1		
恵庭南	体育			1	1	1
恵庭北	普通			1		
北広島	普通		1		1	2
千歳	国際教養		1			1
石狩翔陽	総合学科		1			
苫小牧工業	電子機械				1	
遠軽	普通			1		
帯広農業	農業土木工学					1
鶴川	普通					1
おとねつが美術工芸				1		
有朋						1
苫小牧高専	創造工学		3		1	2
函館高専		1				
釧路高専	木工		1			
札幌日大	特進	2				1
とわの森三愛	機農・作物園芸			1		
	総合	1	2	1		
札幌大谷	Gコース			1		1
星槎国際				2		
東海大付属札幌	総合進学		2	1		
北海学園札幌		1				
文教大学附属(文教大明清)		3	1	2		1
北星大学附属						1
札幌第一		1				
札幌工業	土木				1	
札幌第一			1			
立命館慶祥				1		1
北星女子			1			
クラーク記念国際						1
室蘭海星						1
旭川大学(旭川志峰)				1		
函館大妻				1		1
白樺学園		1				
駒大苫小牧			1			
旭川龍谷					1	1
S高等学校						1
飛鳥未来				1		
飛鳥未来さずな					1	
飛鳥未来さぼう						1
青森山田	通信				1	
南幌養護					2	1
札幌あいの里高等養護						2
新篠津高等養護		1	3	1		
その他						1
合計		91	67	91	63	79

教育委員会表彰

1 対象

教育並びに文化関係について功労のあった方（個人及び団体）を表彰している。

個人表彰は、次に該当する他の模範になる者としている。

- (1) 教育並びに文化に深い関心を有し事業等に貢献し顕著な事績を納めた者
- (2) 教育並びに文化施設に関し多額の金品を寄附した者

2 表彰者

平成27年度

氏名	高 橋 慎	オオムラサキ発見以来、自然豊かなふるさと栗山づくりに大きく貢献された。 ・エゾエノキ里親制度 ・童謡の見えるハサンベツ里山づくり ・廃校雨煙別小学校の再生 ・サケ稚魚放流と魚道実現 等
住所	松 風 4 丁 目	
年齢	65 歳	
性別	男	

栗山町芸術文化振興奨励金

芸術家・文化人の誘致並びに芸術発表の奨励を図るため、町の芸術文化の発展に資することを目的として、栗山町芸術文化振興奨励金を平成 13 年度から交付している。

1 対象条件

- 1) 本町に住所を有し、町内に工房等を新築又は町内の工房等を改修しようとする者
- 2) 本町に工房等の開設を予定している者で、完成後 6 カ月以内に本町に住所を有する者
- 3) 本町に住所、かつ工房等を有し、町外で個展を開催しようとする者
- 4) 町税(町外者にあつては当該在住の市町村税)を滞納していない者
- 5) その他栗山町芸術文化振興奨励金交付審査会が特に必要があると認める者

2 奨励金額

- 1) 新築及び改修奨励金:対象経費の 2 分の 1 以内の額とし、50 万円を限度とする。
- 2) 個展支援奨励金:対象経費の 2 分の 1 以内の額とし、10 万円を限度とする。
- 3) 前項の奨励金は、新築及び改修にあつては一芸術家に1回、個展支援にあつては一芸術家に年1回を限度として交付するものとする。

3 実績

1) 栗山町芸術文化振興奨励金※

(単位：千円・件)

年度	交付金額	件数
平成13	500	工房 1(改修) 個展 -
平成14	260	工房 1(改修) 個展 -
平成15	769	工房 1(新築) 個展 3
平成16	500	工房 1(改修) 個展 -
平成17	1,496	工房 2(改修) 個展 6
平成18	200	工房 - 個展 2
平成19	637	工房 1(改修) 個展 2
平成20	200	工房 - 個展 2
平成21	100	工房 - 個展 1
平成22	656	工房 1(改修) 個展 2
平成23	185	工房 - 個展 2
平成24	275	工房 - 個展 3
平成25	266	工房 - 個展 3
平成26	355	工房 - 個展 4
平成27	327	工房 - 個展 4
平成28	283	工房 - 個展 3
平成29	133	工房 - 個展 2
平成30	171	工房 個展 -

年度	交付金額	件数
令和元	885	地域文化 7 郷土芸能 - 芸術創造 3
令和2	1,140	地域文化 - 郷土芸能 1 芸術創造 4
令和3	208	地域文化 - 郷土芸能 - 芸術創造 2
令和4	2,800	地域文化 3 郷土芸能 4 芸術創造 1
令和5	938	地域文化 3 郷土芸能 - 芸術創造 3
令和6	989	地域文化 3 郷土芸能 1 芸術創造 3

※令和元年度より栗山町文化振興基金補助金

2) 歴史的建造物等保存継承事業補助金

年度	交付金額	件数
令和元	5,000	小林酒造二番蔵 1
令和2	5,000	小林酒造三番蔵 1
令和3	-	
令和4	5,000	小林酒造なつかしホール 1
令和5	-	
令和6	-	

令和7年5月発行

発行 栗山町教育委員会

栗山町朝日4丁目9番地36 総合福祉センター内

電話 0123-72-1117